

水損資料レスキュー講習会
(2021/9/6@大東市立歴史民俗資料館)

水損図書資料の救出・応急処置活動



松下 正和

神戸大学地域連携推進室
副室長 特命准教授
歴史資料ネットワーク副代表

今日の講習概要

- 民間所在資料の防災対策と発災時の対応について（歴史資料ネットワークの活動）
- 特に水濡れ図書を含む歴史資料の応急処置方法とは？
いつでも・どこでも・誰にでも
安くて・早くて・簡単な方法を！
- 地域社会における資料保存の意義
一人ひとりで出来ることは何か？

1. 大規模自然災害から民間所在資料を守る 歴史資料ネットワークとは？

歴史資料ネットワーク（略称「史料ネット」）での活動

- 1995年の**阪神・淡路大震災**を契機として設立されたボランティア団体（事務局＝神戸大学文学部内、078-803-5565）
- 日本史研究者、文化財担当職員、地域史研究団体などのメンバーとともに**被災した古文書や民具類**などの歴史資料を保全
- HP <http://siryo-net.jp/>
- E-mail s-net@lit.kobe-u.ac.jp



▲震災後初の史料レスキュー

1995年2月16日、神戸市中央区『月刊センター』編集室からミニコミ誌を救出した

地域に多くの歴史資料（史料）が残されていたにもかかわらず、**震災を契機として多くが廃棄**されてしまったこと、**現代の史料も「将来の古文書」となる**こと、**地域史を明らかにするには歴史資料が重要である**ことが改めてわかり、後に反省。

レスキューは被災当事者にはできない。よそからの支援を受け入れる「受援力」が大事

史料ネットの保全活動～地震・津波被災資料への対応

- 95年阪神・淡路大震災
- 99年台湾大震災
- 00年鳥取県西部地震（→山陰ネット支援）
- 01年芸予地震（→山口・愛媛・広島ネット支援）
- 03年宮城県北部連続地震（→宮城ネット支援）
- 04年新潟県中越地震（→新潟ネット支援）
- 05年福岡県西方沖地震
- 07年能登半島地震（→能登ネット（現在解散））
- 11年東日本大震災
- 18年大阪北部地震

阪神・淡路大震災後、被災資料レスキューのノウハウを伝えるべく海外・全国の地震被災地を訪問

史料ネットの新たな保全活動～水損資料への対応

- ・ **04年新潟・福井水害**（→福井ネット設立支援）
- ・ **04年台風23号（兵庫北部・京都北部での水損史料救済）**
- ・ 05年台風14号（→宮崎ネット設立支援）
- ・ 09年台風9号（兵庫県佐用町・宍粟市で水損史料救済）
- ・ 10年、11年奄美豪雨
- ・ 11年紀伊半島大水害（→和歌山ネット設立支援）
- ・ 14年8月豪雨（広島、徳島、高知、兵庫県丹波市市島町、京都府福知山市）
- ・ 18年7月西日本豪雨（愛媛・広島・岡山・兵庫・岐阜）
- ・ 19年台風15号、19号、21号（長野・栃木・茨城・福島・宮城…）

※阪神・淡路大震災よりスタートした活動だったので、当初は主に地震対応のみだった。2004年以降、ほぼ毎年のように**水害対応**

史料ネット会員から
「**水害も災害**なのに、
なんで地震しか対応せ
えへんの？」と言われ
対応することに

同時期に水損対応している館
（2004年8月台風16号・**観音寺
市郷土資料館**、2006年豪雨・**天
草アーカイブズ**）もあったが、
当時は知らず交流もなかった。

※松下の個人的な
活動…2006年
ジャワ島中部地震、
2009年**ドイツ・
ケルン文書館崩落
事故対応**

全国各地に広がる史（資）料ネットワーク組織



現在、25団体以上の組織が結成

＜これまでの史（資）料ネット＞

岩手、山形、宮城、福島、千葉、神奈川、新潟、栄村（長野）、静岡、能登（現在なし）、福井、三重、**神戸**、和歌山、岡山、広島、山陰（島根・鳥取）、山口、愛媛、徳島、高知、宮崎、熊本、鹿児島

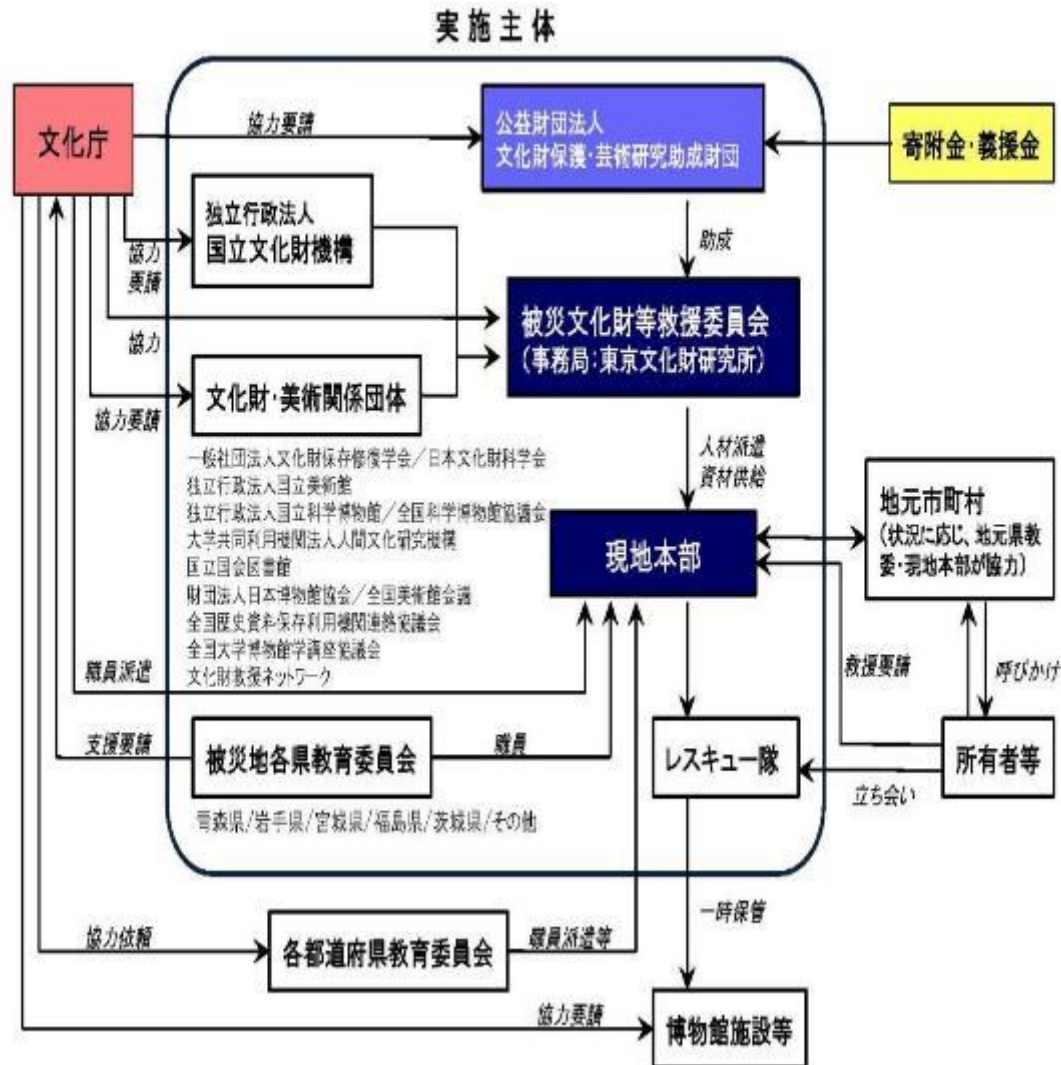
＜最近できた史（資）料ネット＞

- ・ **信州資料ネット（長野） 19年10月**
- ・ **「東海資料ネット」（愛知他） 19年12月**
- ・ **群馬歴史資料継承ネットワーク（群馬） 20年7月**
- ・ **栃木・那須 20年8月設立**

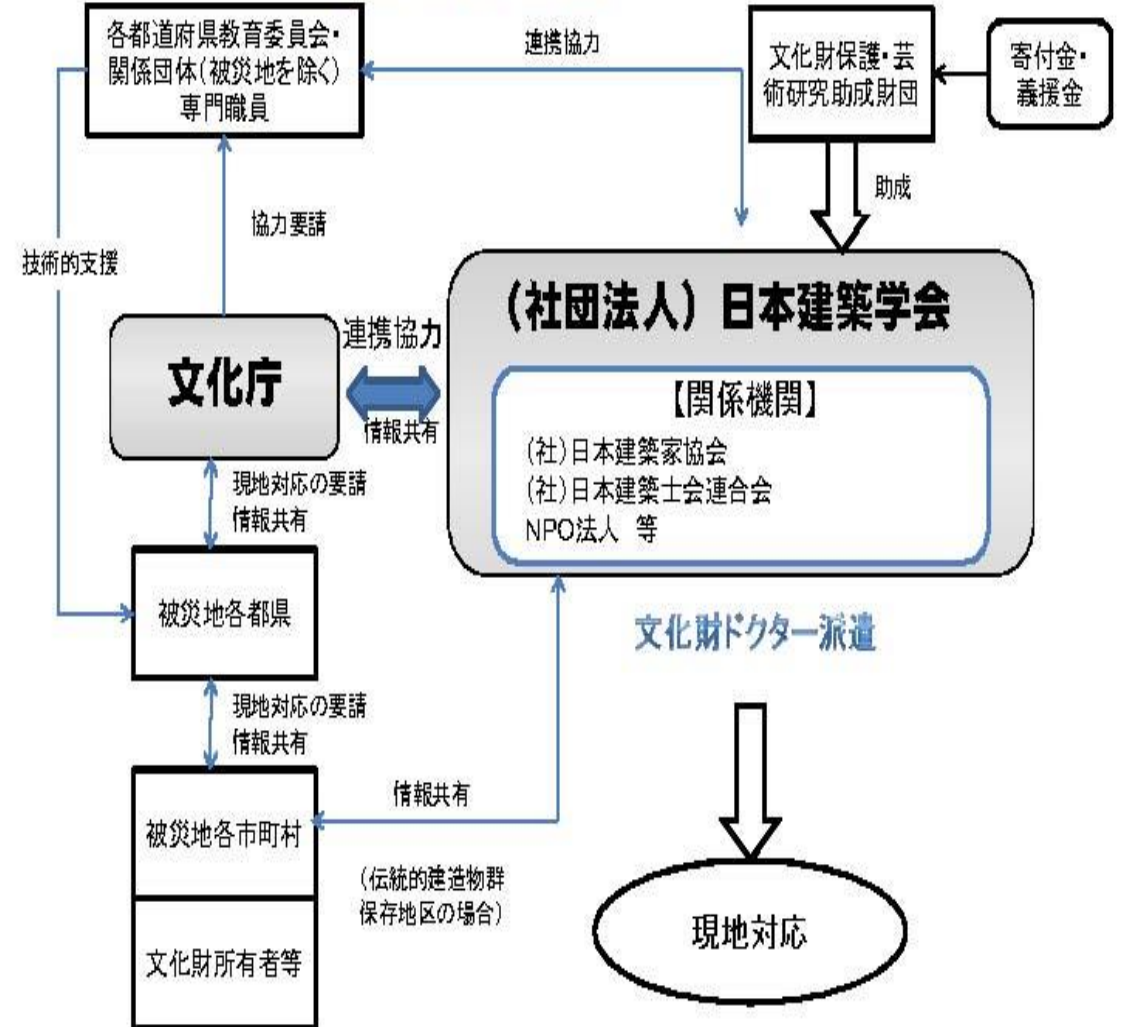
最近の文化財保全に関する動向

- 2014年9月1日…独立行政法人国立文化財機構に「**文化財防災ネットワーク推進本部**」が発足、「**文化財防災ネットワーク推進事業**」（平成26年度「美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業」）スタート→R2.10に文化財防災センターへ
- 2015年2月15日…全国史料ネット研究交流集会にて「『**地域歴史遺産**』の**保全・継承に向けての神戸宣言**」を採択。<http://siryo-net.jp/info/201502-kobe-declaration/>
- 毎年「**全国史料ネット集会**」を開催…今年度は2022年2月19・20日の予定、詳しくは**史料ネットHP**へ <http://siryo-net.jp/>
- 2018年…**歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業**…人間文化研究機構と東北大学、神戸大学との連携
- 2019年4月…**改正文化財保護法**施行…県は大綱、市町村は保存活用計画の策定
- 2020年10月…独立行政法人国立文化財機構が「**文化財防災センター**」を設置（本部は奈良文化財研究所） <https://ch-drm.nich.go.jp/>
- 2021年2月19日…「**文化遺産防災ネットワーク推進会議の災害時における活動ガイドライン**」改訂（R2.2.4策定）

東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援事業（文化財レスキュー事業）



東日本大震災被災文化財建造物復旧支援事業
(文化財ドクター派遣事業)



過去の大規模災害時には、文化財レスキュー事業（文化財等救援委員会）が立ち上がりました。
(ただし東日本大震災時は動産文化財と不動産文化財が別ルートでレスキュー)

文化遺産防災 ネットワーク推進会議

多様な分野との連携の必要性

文化遺産防災ネットワーク推進会議

文化遺産防災ネットワーク推進会議は、さまざまな有識者・関係者の連携を促進する目的で開催し、情報共有を図り、活動の拡大によって文化遺産を災害から守り、災害発生後の調査・支援活動に迅速かつ効果的に行うためのネットワークを構築しています。
令和2年2月4日に定めた「[文化遺産防災ネットワーク推進会議の目的およびデザイン](#)」を令和3年2月11日に改定しました。

参加団体一覧（※）は参加団体幹事

独立行政法人国立文化財機構	https://www.nich.go.jp/ ⁽¹⁾
独立行政法人国立美術館	https://www.art-museum.go.jp/ ⁽¹⁾
独立行政法人国立科学博物館	https://www.kokushikagaku.go.jp/ ⁽¹⁾
大学共同利用機関法人国文学研究館	https://www.kugaku.go.jp/ ⁽¹⁾
国立国会図書館	https://www.ndl.go.jp/ ⁽¹⁾
独立行政法人国立公文書館	https://www.kokubunko.go.jp/ ⁽¹⁾
公益財団法人日本博物館協会	https://www.jmnp.or.jp/ ⁽¹⁾
公益財団法人日本図書館協会	https://www.jlsc.or.jp/ ⁽¹⁾
全国科学博物館協議会	https://nkml.jp/ ⁽¹⁾
一般財団法人文化財保存修復学会	https://cpr.or.jp/ ⁽¹⁾
一般財団法人日本大学協会	https://univ-kyo.or.jp/ ⁽¹⁾
日本文化科学学会	https://www.bunkagaku.jp/ ⁽¹⁾
一般財団法人全国文庫協会	https://www.bunka.or.jp/ ⁽¹⁾
全国歴史民俗保存員協議会	https://www.hml.or.jp/ ⁽¹⁾
全国大学博物館学協議会	—
防災委員会地域人・防災歴史資料保全ネットワーク	https://www.bunka-shinsei-shinsei.or.jp/ ⁽¹⁾
歴史資料ネットワーク	https://www.hml.or.jp/ ⁽¹⁾
防災委員会地域人・西日本自然史系博物館ネットワーク	https://www.bunka-shinsei-shinsei.or.jp/ ⁽¹⁾
全国歴史民俗系博物館協議会	https://www.hml.or.jp/ ⁽¹⁾
大学博物館学協議会	https://univ-kyo.or.jp/ ⁽¹⁾
公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団	https://www.bunka-shinsei-shinsei.or.jp/ ⁽¹⁾
防災委員会地域人・文化財保存支援機構	https://www.bunka-shinsei-shinsei.or.jp/ ⁽¹⁾
日本民具学会	https://www.bunka-shinsei-shinsei.or.jp/ ⁽¹⁾
九州・山口ミュージアム連携事業実行委員会	—
一般財団法人国史館資料館連盟	https://www.bunka-shinsei-shinsei.or.jp/ ⁽¹⁾

令和2年2月現在25団体

・ **ミュージアム系**…独立行政法人**国立文化財機構**、独立行政法人**国立美術館**、独立行政法人**国立科学博物館**、大学共同利用機関法人**人間文化研究機構**、公益財団法人**日本博物館協会（日博協）**、**全国科学博物館協議会**、**全国美術館会議（全美）**、**全国大学博物館学講座協議会**、特定非営利活動法人 **西日本自然史系博物館ネットワーク**、**全国歴史民俗系博物館協議会**、**大学博物館等協議会**、**九州・山口ミュージアム連携事業実行委員会（みんなも）**

・ **ライブラリー系**…**国立国会図書館**、公益社団法人**日本図書館協会（日図協）**

・ **アーカイブ系**…独立行政法人**国立公文書館**、**全国歴史資料保存利用機関連絡協議会（全史料協）**

・ **修復・保存科学系**…一般社団法人**文化財保存修復学会**、**日本文化財科学会**、公益財団法人 **文化財保護・芸術研究助成財団**、特定非営利活動法人 **文化財保存支援機構（JCP）**、一般社団法人**国宝修理装演師連盟**

・ **考古系・民俗系**…一般社団法人**日本考古学協会**、**日本民具学会**

・ **史料ネット系**…特定非営利活動法人 **宮城歴史資料保全ネットワーク**、**歴史資料ネットワーク**

<https://ch-drm.nich.go.jp/about/meeting.html>
（令和2年2月現在25団体）

2. 史料ネットは何を救うのか？

史料ネットのレスキュー対象＝地域歴史遺産

(主に民間所在資料、未指定文化財)

- 古文書（崩し字で和紙に書かれたものなど）
 - 古い和本（和紙に書かれ、冊子状のものなど）
 - 近代の古書、ノート、記録（手紙や日記等）、新聞、写真、絵画
 - 古い襖や屏風（下張りの古文書も含む）
 - 自治会などの団体の記録や資料
 - 農具、機織りや養蚕の道具、古い着物など、物作りや生活のための道具など
- ※館内資料、図書資料、役場文書への対応もあり

	公的施設	民間
指定された文化財 国・都道府県・市町村	文化財保護法による保護	
未指定の文化財	施設による管理	誰が守るのか？

“どこにでもあるけれども、そこにしかないもの”

- 文化財に指定されているような著名なものだけが歴史資料なのではない。
- 昔の人の暮らしぶりなど、**地域や、家や、個人の歴史を知る手がかり**となるようなものは全て歴史資料として、**地域歴史遺産**として救出・保全 ※皆の働きかけにより「**なる**」もの
- 「**存在証明**」としての記録史料 ※**今日の大前提＝生命・生活最優先、文化財等は二の次**
(しかし、精神的復興の際にあとからじわじわ効いてくる思い出・記録資料・歴史文化。インフラ復興と文化復興の間には時間差。「**二の次**」に出来るよう普段からケア)

「被災体験」と「調査公害」の体験

地区の公民館や集会所にある記録類



- 戦後からの自治会文書
- 明治から戦前までの区有文書
- 江戸時代の村に関する文書

和筆笥や長持、
金属製ロッカー
の中にもあり

地区の公民館や集会所にある記録類



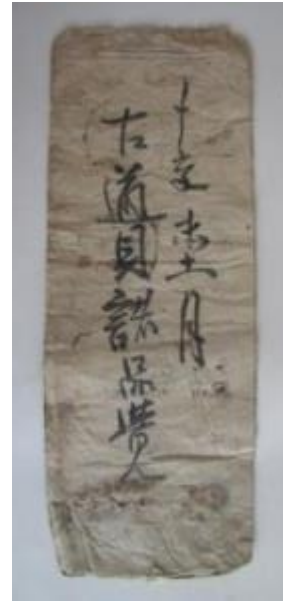
- 写真（圃場整備、集合写真）
- 絵図・字限図・地図類
- 扁額、表彰状など



倉庫、押し
入れ、壁に
もあり



旧家に残された記録類



- 古文書
- 襖、屏風、軸物
- 古新聞、日記・ノート・手紙、その他記録

蔵、倉庫、天井裏、
押し入れ、壁の中、
畳の下にもあり

公文書・図書への被害対応

※奄美豪雨（平成22年,23年）

- ・ 龍郷町中央公民館（図書館）
 - ・ 床上30cmの浸水図書約6000冊が水損。多くはすでに廃棄
 - ・ 絵本・公民館建設関係書類はとりあえず保管・クリーニングの指導



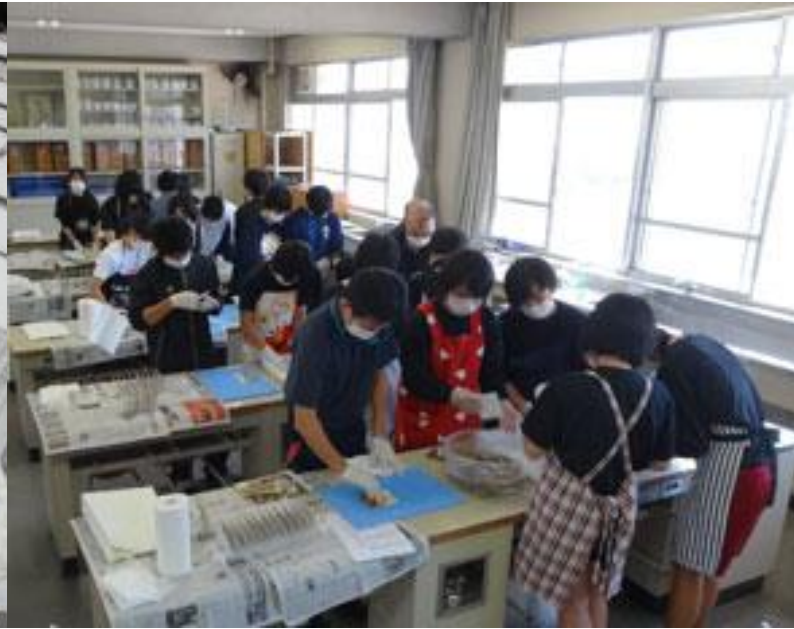
図書はみんなが触るものなので、特に衛生面に留意
（徹底した消毒が必要、場合によっては買い換えることもあり）

広島県立文書館での写真乾燥作業（2014/8/30）

※平成26年8月豪雨



▲広島県立文書館での乾燥作業



▲広島県立高陽東高校での洗浄のようす（国立公文書館HPより）



土石流の被害にあったフエルアルバムやポケットアルバムから写真を取り出し、エタノールでの消毒や泥落としのクリーニング。表面の乳剤（画像）の剥落に注意しながら、丁寧にフィルムをはがしていく。

10/11に**地元の高陽東高校生らによるボランティア**で洗浄作業をおこなった。

平成30年7月豪雨（西日本豪雨）被災地支援

• 広島ネットへの支援

- 広島県立文書館での保全活動
広島市安芸区の旧家文書（コンテナ21ケース、木箱6箱、段ボール3箱） カビ・悪臭も発生
- 自然・送風乾燥、吸水紙による乾燥、冷凍前処置、エタノール消毒、固着展開

• 愛媛ネットへの支援

- 大洲市立博物館にて文書・写真・埋文関係資料の処置
- 愛媛大学にて公民館保管文書の保全作業

• 岡山ネットへの支援



今日は、神戸の歴史資料ネットワークの吉川圭太さん、国立歴史民俗博物館の天野真志さん、兵庫県立歴史博物館の吉原大志さん、宮城歴史資料保全ネットワークの安田容子さんが来館し、カビ被害がひどい商家文書の冷凍のためのパッキング作業を指導していただきました。作業は当館職員も総出で行い、段ボール箱17箱分の文書のパッキングを終えることができました。パッキングした文書は**市内の倉庫会社の冷凍庫に搬入して、冷凍保管**しています。（広島県立文書館HPより）

2018年7月豪雨（西日本豪雨）被災地支援

- 関市での水損アルバム修復活動（岐阜県博物館協会が主体）（8/4、9/7参加）
 - 汚損写真の全体撮影、個別ページにナンバリング、ページスキャン、解体、写真毎に判別し、乾燥、洗浄（水洗浄またはエタノール洗浄）、乾燥、取りまとめ
- 岐阜県博物館協会、岐阜大学須山知香氏・中尾喜代美氏らの支援



▲関市武芸川事務所内 関市文化財保護センターでの水損アルバム処置（2018年8月4日、9月7日）

関市での写真処置

17 その他

豪雨災害で泥水に浸かった写真・アルバム等の洗浄

支援の内容	・今回の豪雨災害により泥や水の被害を受けた思い出の写真やアルバム、大切な記録（古文書）を、そのまま放置するとカビやバクテリアが繁殖し損傷が進んでしまいますので、個々の状態に応じて適切な処置を施して、持ち主の元にお返しします。 ○主な作業内容 ・洗浄して泥や汚れを落とします。 ・殺菌、乾燥させてお返しします。 ○協力 ・岐阜県博物館協会、岐阜大学など ○注意事項 ・印刷された卒業アルバム等は、お受けできない場合もあります。 ・被災前の状態に戻すものではないことをご理解ください。
対象者	・被災した写真、アルバム、大切な記録等をお持ちの方
申請方法	<申込期限> ・平成30年8月17日午後5時まで ※被災から時間が経つと、処理が難しくなります。できるだけ早めにご相談ください。 <申込方法> ・関市文化財保護センターに電話で申し込んでください。
お問合せ	関市文化財保護センター TEL 45-0500

▲関市の「被災者支援制度ガイドブック」に写真・アルバム洗浄の支援が掲載された。



【参考】震災資料の保全

史料ネット活動の
両輪の一つ。今回
はこの話は割愛

一次資料

阪神・淡路大震災の直後から被災地の復旧・復興の過程において、
使用・作成されたもの

震災が発生して以降の資料（**震災資料**）は、震災直後から復興
までの歩みの記録として、また人々の生きた証、震災への対応
のあり方を示し、今後の震災対応にも活かすものとして貴重

Cf. 国立国会図書館東日本大震災アーカイブ ひなぎく



※18万点もの資料が寄贈
…自分（たち）のものだけ
ど自分（たち）だけのもの
ではない
…体験の**共有化**、**公共財**と
しての震災資料へ

▲人と防災未来センター

変哲のないモノであっても、そ
れぞれの**モノ**にまつわるエピ
ソード・物語が存在する。
モノの保存とともにそれらの**メ
タデータ**の保存が必要



資料分類	主な資料
モノ	・5時46分で止まった時計 ・地震で壊れたゴルフクラブ、ハーモニカ ・地震による火災で焼けて溶けたガラス、硬貨 ・救援物資として届けられた寝袋、マスク ・炊き出し支援活動で使用した大鍋 ・学生ボランティアが制作した紙芝居 ・仮設住宅の活動で作られた手芸作品 ・ボランティア基地、仮設住宅の看板 ・励ましの千羽鶴など
紙	・被災者の日記、手記 ・ボランティアの活動日誌 ・避難所の日誌 ・救援物資配布表 ・自治会の日誌、報告書 ・仮設住宅申込書 ・まちづくり協議会の資料 ・NPO・NGOニュースレター ・住宅再建に伴うマンション自治会協議資料 ・避難所や仮設住宅、復興公営住宅で配布されたビラ・チラシなど
写真	・街中、住宅地などの被害記録写真 ・倒壊した建物の写真 ・救援活動の記録写真 ・仮設住宅の写真 ・ボランティア活動の記録写真 ・イベントの記録写真 ・定点観測で撮影された街の写真など
映像・音声	・被災者が撮影した震災の映像 ・仮設住宅の記録映像 ・ボランティア活動の記録映像 ・復旧・復興の様子を撮影した映像 ・地元コミュニティFM局の放送テープ ・被災地激励の歌のテープなど

二次資料

阪神・淡路大震災およびその他の災害、防災関連の刊行物

▲人と防災未来センター資料室のHPより

震災資料（災害資料）を保全する図書館

- **1959年伊勢湾台風**…名古屋市図書館南図書館（伊勢湾台風資料室）
- **1995年阪神・淡路大震災**…兵庫県立図書館、神戸大学附属図書館震災文庫、神戸市立中央図書館
- **2004年新潟県中越地震**…長岡市立中央図書館文書資料室（長岡市災害復興文庫＝被災歴史資料＋災害復興関連資料＋歴史的公文書の3本柱を目標）、十日町情報館、小千谷市立図書館、
- **2011年東日本大震災**…国立国会図書館東日本大震災アーカイブ ひなぎく、岩手県立図書館（東日本大震災情報ポータル）、岩手大学図書館など（岩手県の自然災害と東日本大震災に関する資料リポジトリ）、仙台市立図書館（3.11震災文庫）、東北大学附属図書館、宮城県図書館、福島県立図書館

※「図書館共同キャンペーン 震災記録を図書館に」

- **2016年熊本地震**…熊本県立図書館、くまもと森都心プラザ図書館、熊本大学附属図書館
- **2018年西日本豪雨**…岡山県立図書館

3. 水損歴史資料の応急処置方法

水損史料保全活動の流れ（理想と現実）

※あくまでも生活復興のためのお手伝いとして



①巡回

被害の有無を地元の方々と一緒に巡回調査

いつ、何処の誰に交渉し、誰が、誰と、どんな準備で入るのか？



②レスキュー

濡れた文書をビニール袋詰めし安全な場所に搬出

そんな汚れたものをどこが受け入れてくれるのか？



③応急処置

水損文書を吸水紙で挟んだり、真空凍結で乾燥

修復について素人の日本史研究者だけで出来るのか？



④返却

乾燥済みの文書は仮目録とともに所蔵者に返却

乾燥後も悪臭のする史料を所蔵者に返せるのか？



⑤活用

保全した史料を用いて展示会や現地説明会を開催

災害で保管場所を失った所蔵者に史料を返せるのか？

誰が内容分析するの？

誰が目録取るの？

誰が経費負担するの？

2004年福井水害ではボランティアを派遣し、地元での被災史料巡回調査に協力しました。同年の台風23号では但馬・丹後地区で、09年台風9号では兵庫県佐用町・宍粟市でレスキュー活動を展開しました。

近年は、この経験から生まれた水損史料の保全方法論や吸水乾燥の応急処置方法を広く伝えるために「**水濡れ史料乾燥ワークショップ**」を各地で開催しています。

2004年10月台風23号 水損史料（豊岡市日高町）



▲日高町M家で陰干し中の水損史料
白く見えるのはカビ。吸水乾燥のため、ビニール袋に詰めて搬出（11/1撮影）



▲日高町T家の味噌蔵で保管されていた古文書が山からの鉄砲水、円山川の氾濫水、生活排水、蔵の壁土などと混ざり、泥まみれとなっている

2011年東日本大震災 津波被災資料レスキュー



一階部分まで浸水した資料室



▲2011年3月東日本大震災
での津波被害
4月25日にレスキューに入る



潮水とヘドロで汚損した和本類（農書）
（宮城県立農業高校所蔵、東日本大震災）

水濡れ史料を保全する際の課題

- カビ、腐敗臭の発生→廃棄されやすい
- 送風・吸水乾燥や大量の場合冷凍や真空凍結乾燥（FD）処置の必要
- 乾燥後も悪臭あり（特にFD後は有機酸・エステル値が上昇）
- 汚泥除去・脱臭のためドライクリーニングや一紙ごとの洗浄が必要



応急処置できる人材がまだまだ不足！

全国各地で行ってきた水濡れ資料吸水乾燥ワークショップ



ボランティア
リーダーを増
やしたくてス
タート

▲早稲田大学でのWS（2009/3/2）



▲和歌山県立歴史博物館でのWS
（2012/5/13）



▲キッチンペーパーでの吸水乾燥体験。小さなお子さんでも簡単に出来ます

修復の専門家でない私たちにもできることがあります！

史料の救命士になって一緒に活動しませんか？と呼びかけ

いつでも、どこでも、誰にでもできる

安くて、早くて、簡単な乾燥方法を普及することで
コストをかけられない未指定文化財を少しでも多く救いたい

100均やホームセンターの資材で可能な処置方法を目指しています

水濡れ資料を扱うときの注意点①

真っ黒なカビに注意！（東文研HPより）

- 津波で被災した紙資料等に健康被害を起こす可能性のある**真っ黒なカビ（スタキボトリス属のカビ）**の発生が高頻度に検出
- カビの生えた被災文化財を触る場合には、必ず**防塵マスクや手袋、作業着**などを装着して扱う必要があり、カビを吸い込んだり皮膚に接触させたりしないように注意



写真1. スタキボトリス属菌の水損文化財（紙）への発生例（左）と顕微鏡観察写真（右）

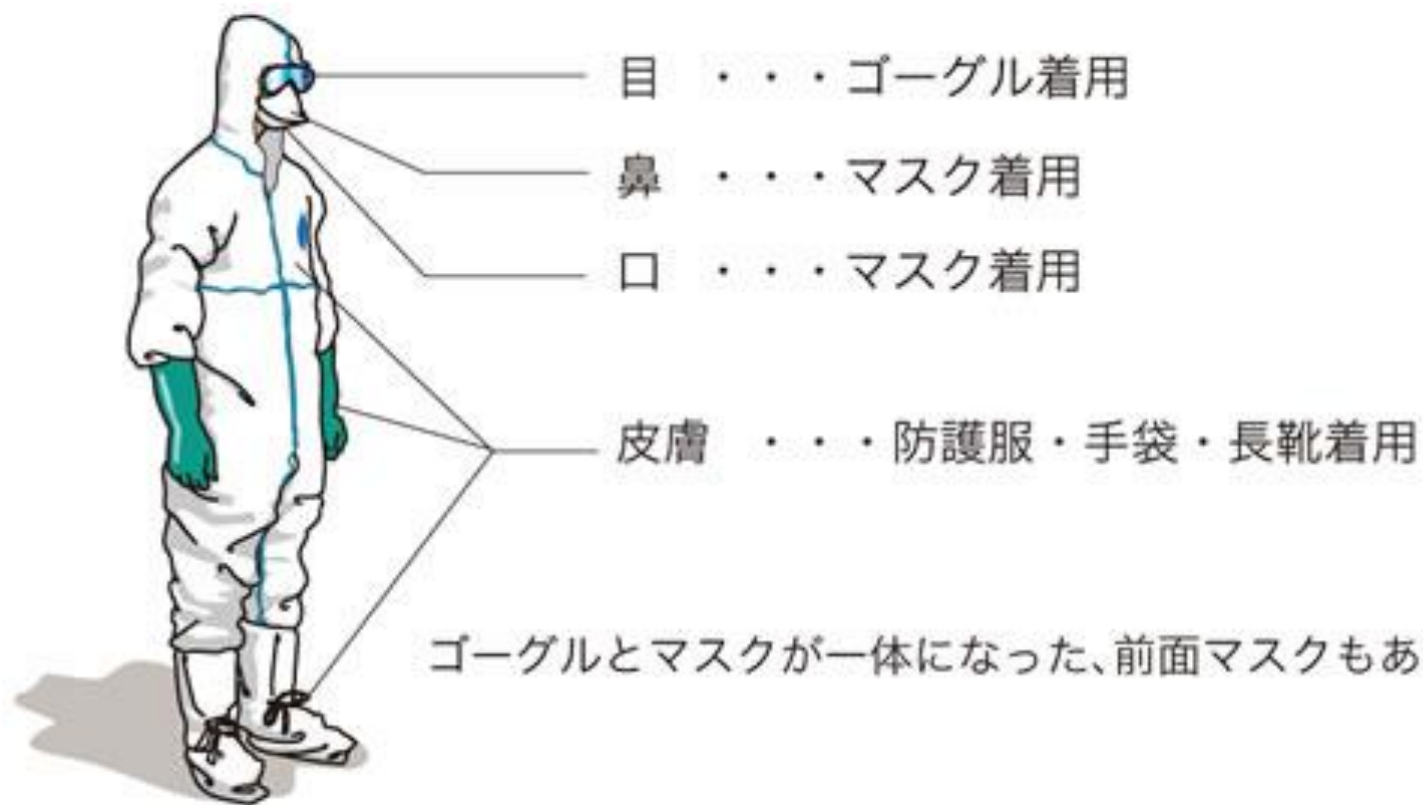


※ **DS2** 日本の厚生労働省が定めた規格

※ ウイルスや震災対策、粒子状物質（PM2.5）対策にはN95、DS2どちらも吸入リスク低減に有効

- カビやホコリを吸い込まないように、**防塵マスク**を着用します
- 30分に一回は休憩し、作業部屋の換気をしてください

コロナ禍で入手困難に
・ 場合によっては自作マスクの使用も
・ 換気の徹底



- カビやホコリが目に入ったり、服につかないような工夫も必要です
- 放射性物質付着が疑われる場合は、使い捨て**タイベックスーツ・不織布キャップ**や**シューズ**なども使用します

・コロナ禍で入手困難に
場合によっては雨合羽や
エプロンで代用も
・換気の徹底



ラテックス（天然ゴム）手袋



ラテックス（天然ゴム）手袋を単独で使用するすると、粉（パウダー）が付着したり、中で汗をかいて手の皮がふやけてくるため、**あらかじめ木綿手袋をはめてから**、ラテックス（天然ゴム）手袋をはめるとよい。

コロナ禍で入手困難に

- ・ 場合によっては炊事用ゴム手袋や軍手などで代用
- ・ 手洗いの徹底

水濡れ資料を扱うときの注意点②



※無水エタノールよりも70～80%の水溶液にしたほうが殺菌効果が高い

※IP（イソプロパノール）などの添加物がないものを選ぶ

- カビなどにより汚染されている場合は、**消毒用エタノール**を霧吹きに入れて資料に噴霧し、**殺菌・消毒**
- インク書きの資料などエタノールに溶けやすい筆記具で記されている場合は使用しない

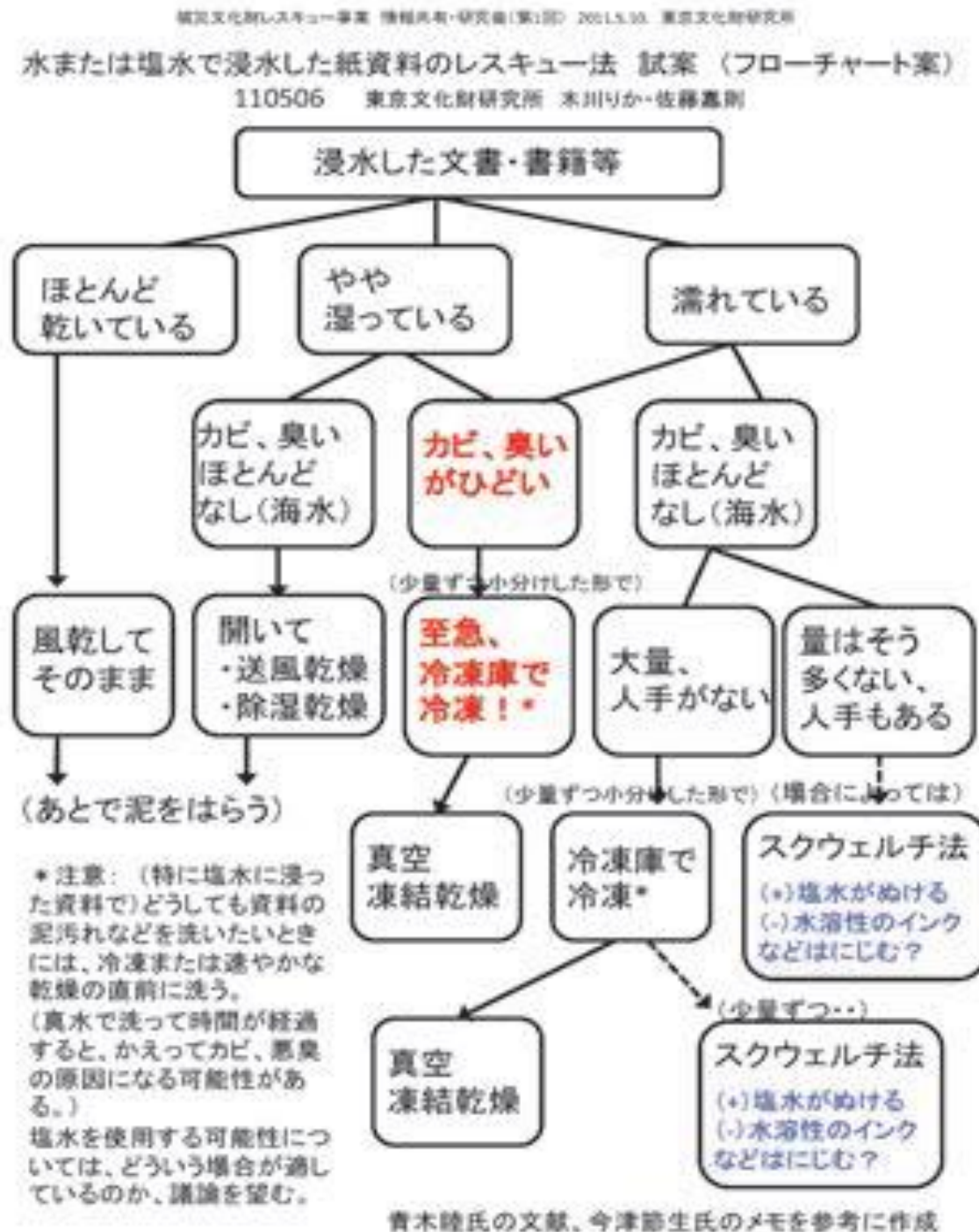


コロナ禍で入手困難に
場合によっては業務用エタノールの使用も

新たな消毒法の開発の必要
(例) 放射線殺菌

水濡れ資料対応の基本

- できる限り速やかに
- ①**乾燥**させる（風乾を含む）
 - ②**冷凍**したのち、**凍結乾燥**させる、
という方法が一般に推奨されている



水濡れ資料対応の基本

③脱酸素剤などを使用して**低酸素濃度**にする（好気性のカビの抑制）際の注意

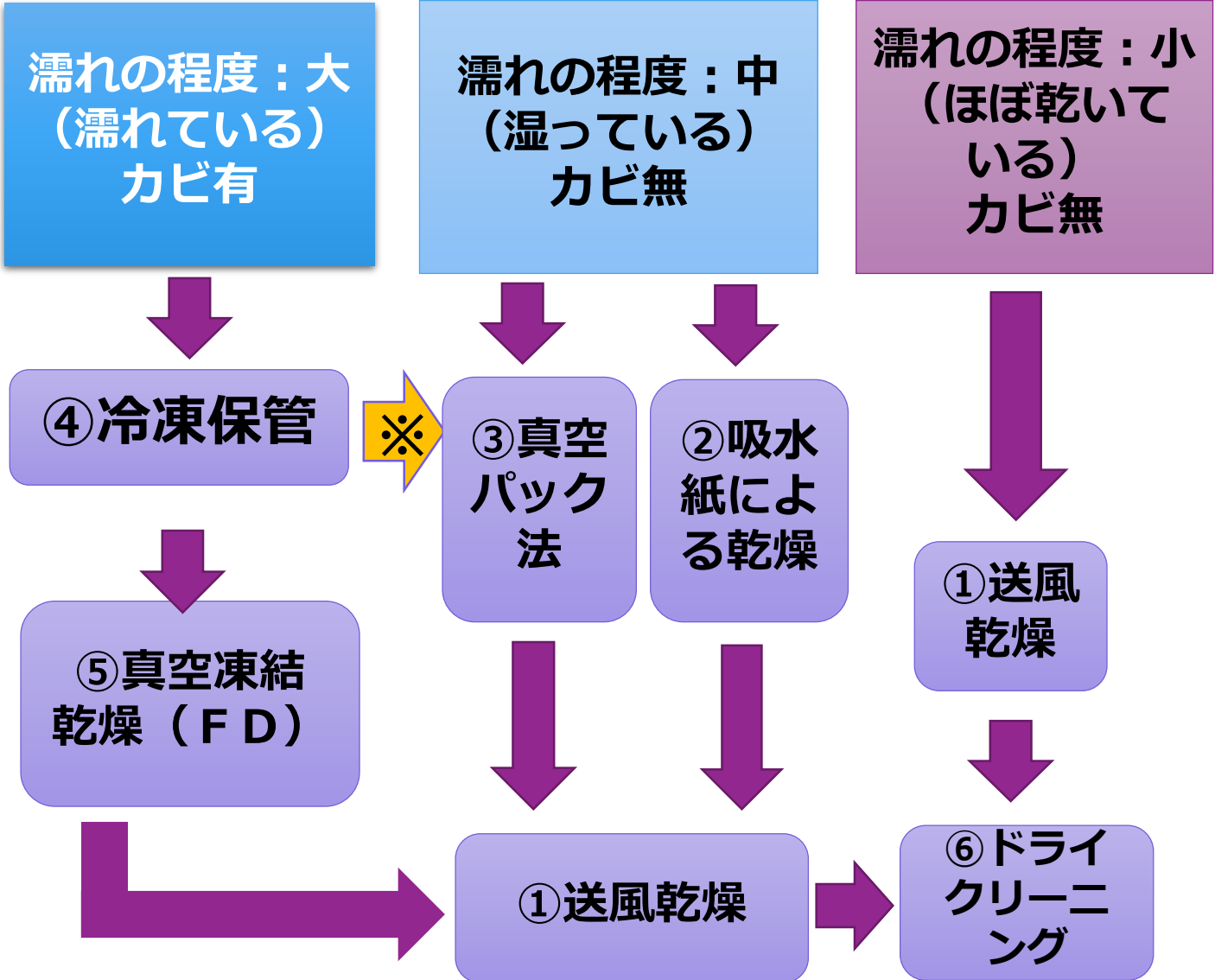
- 生乾きのまま脱酸素環境にしていると、**酸素がなくても増殖する嫌気性の細菌などが増殖**して悪臭を放つ
- またこれらの細菌には毒素を産生するものもあり

④**殺菌燻蒸**を実施する際の注意＝必ず乾燥後

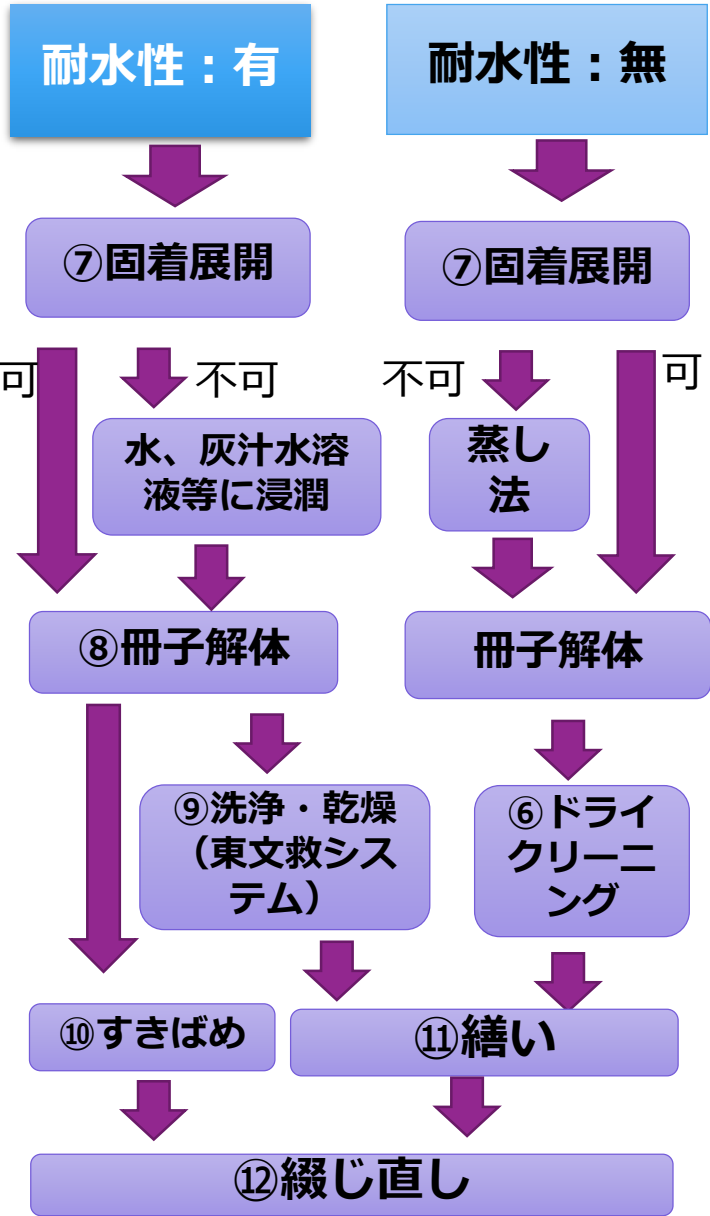
- 濡れたまま実施すると効果がないばかりか、**燻蒸剤が水分と反応してグリコールという保水性の成分が生成**
- **津波の塩分（塩素イオン）と燻蒸剤が反応すると、クロロヒドリンという発癌性の物質が生成して、資料に残留**

水濡れ資料処置作業手順 (2021年段階松 downstream)

冷凍・乾燥処置 (一次処置)



乾燥後の洗浄・修復処置 (二次処置)



まずは一次処置を行い乾燥を済ませてから、二次処置へ

冷凍・乾燥処置（一次処置）

◆医療の素人でも人工呼吸法やA E Dが使えるようになるのが望ましいのと同様に、文化財修復のプロでなくても、この**一次処置**までは皆さんに出来てほしいし、その方法を周知して欲しい

◆資料保存論の議論では48～72時間以内の処置を求め、早い処置に越したことはないが、行政職員も一般の被災者も「文化財どころではない」ことが多く現実には困難（この講習でも当然のことながら、文化財・歴史資料よりも人命を重視します）。逆に言えば、**48～72時間以降でも可能な処置方法や防災・減災対策**の開発こそ必要となる。

水濡れ資料の応急処置法①

カビ無・ほぼ乾いている場合＝風乾・自然乾燥



▲水損史料の送風乾燥（2009年佐用町水害）

メッシュコンテナ（網目状になったプラスチック容器）に濡れた資料をいれて、出来るだけ風通しの良い部屋で、**扇風機**や**サーキュレーター**の風をあてながら乾燥。風で中身が飛ばないように、**農業用ネット**などをかぶせておくとい

(参考) 実際の被災現場－天日干しする場合も



愛知大学総合郷土研究所主催
2019年度 第2回公開講演会

2019.
12.7 sat
講師 **松下 正和氏**
神戸大学地域連携推進室 特命准教授

阪神・淡路大震災を契機に関西の歴史関係者・博物館関係者などにより歴史資料ネットワークが結成され、被災した歴史資料の保全と活用が進められてきました。その後、歴史資料ネットワークは各地で結成され、災害後の資料保全と災害前の予防活動を行っています。
この講演では歴史資料ネットワークの活動内容を紹介し、ワークショップでは水損資料の応急処置を学びます。

申込不要・参加無料

第1部 講演 大規模自然災害から地域の歴史資料を救う
●時間/ 13:30～14:45 ●会場/ 愛知大学豊橋校舎 6号館 1階610教室

事前申込[定員24名]・参加無料

第2部 ワークショップ 水損資料の応急処置
●時間/ 15:00～16:00 ●会場/ 愛知大学豊橋校舎 6号館 2階622教室

ワークショップ申込方法
(講演のみ参加の場合は申込不要)
ワークショップ参加希望者は、お名前(印刷体)・学年・所属(学部、学科)・連絡先(電話番号)を記入してお送りください。
お送り1枚で1名の申込となります(定員24名限、申込順に受付いたします)。
●送付先/〒441-8522 豊橋市町田町1-1 愛知大学総合郷土研究所

愛知大学 AICHI UNIVERSITY
愛知大学総合郷土研究所
〒441-8522 豊橋市町田町1-1
TEL 0532-47-4160
FAX 0532-47-4160
E-Mail kyodoken@ml.michi.ac.jp

豊橋校舎 6号館 2階622教室
豊橋校舎 6号館 1階610教室
豊橋校舎 6号館 1階610教室
豊橋校舎 6号館 1階610教室

※こんなにやく版など退色しやすいものには厳禁。ただし陰干しよりも悪臭は残りにくい

水濡れ資料の応急処置法②

カビ無・湿っている場合＝吸水紙による乾燥
(電気がない・少量・薄い帳面類・水洗いができない場合などにも有効) ※一番簡単

あとで体験いただきます

押し法



▲史料全体を吸水紙ではさみ、押しながら吸水

市販のエンボス付きキッチンタオルで吸水乾燥が可能 (ただしはさみっぱなしはカビの原因になるので注意)

はさみこみ法



▲ページの間に吸水紙をはさみながら吸水

吸水紙はキッチンタオルの他に、新聞紙でもコピー用紙でもかまいません。

キッチンタオルはエンボスが命



▲紙ウエス

※エンボス付きキッチンタオルを史料に押し当てながら吸水すると**エンボスの跡がつくことも**。カビが生えて捨てられるよりはまし。



※リードは平滑なので跡はつかないがその分吸水性に難あり

▲家庭用キッチンタオル



**超
おすすめ**

※元の重量の2倍以下になると吸水率が下がるので**送風乾燥にまわす**とよい。（元の重量が不明な場合は、吸水紙の重量変化を測定することで吸水率の推移を観察する）

水濡れ資料の応急処置法③

カビ無・湿っている場合＝スクウェルチ・パッキング法（真空パック法）
（特に分厚い資料の場合に有効）



一回目の
新聞紙は
分厚く！
二回目の
交換は素
早く！

▼「真空パックン」



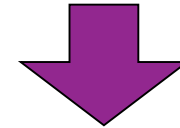
※**常温で保管**できるというメリットがあるが、**嫌気性**のカビが繁殖することもあるので注意

- ・ 濡れた書籍などを**新聞紙**などの吸水紙でぐるぐる巻きにする
- ・ **家庭用真空パック器**に入れて真空にする
- ・ 濡れた書籍から出てきた水分が新聞紙に移り、平衡状態になる
- ・ 新聞紙を**何回も交換**することでいつか書籍が乾く

嫌気性のカビが繁殖するので入れっぱなしにしないよう注意！

真空パック法（スクウェルチ・パッキング法）～東日本大震災の事例

- ・冊子の水分を**キッチンタオル**や**新聞紙**などで粗く取っておく
- ・冊子を**不織布**でくるんだ後に**吸水紙**で包む（史料と吸水紙の癒着を防ぐため）あるいは、冊子を直接**吸水紙で包む**（吸水紙は新聞紙でもかまわない）
- ・冊子を**ビニール袋**に入れる
- ・**真空パック器（脱気シーラー）**で袋内の空気を抜き、密封する。
- ・袋に「**パッキングの回数**」、「**パッキングの日時**」、「**史料群名**」などを書いておく
- ・吸水紙が**濡れたらすぐに交換**し、冊子が乾燥するまで**数回繰り返す**（**入れっぱなしはカビが生えるので注意**）
- ・ある程度吸水できたら**送風乾燥**へ



布団圧縮袋・座布団圧縮袋に入れ、 濡れた資料に新聞紙をぐるぐる巻きにして、 掃除機で吸引しても同じことができます！



画像をクリックして拡大イメージを表示

Q-PON!!なら
ふとん圧縮袋に、
電動吸引ポンプ
がついてきま
す！！

Q-PON!(電動吸引ポンプ+ふとん圧縮袋2P)

オリエント

★★★★★ 44件のカスタマーレビュー

参考価格: ¥4,320

価格: ¥2,854 プライム

OFF: ¥1,466 (34%)

在庫あり。在庫状況について
この商品は、Amazon.co.jp が販売、発送し

新品の出品: 16 ¥2,854より

住所からお届け予定日を確認 153-0064 -

9/11 金曜日にお届けするには、今から「
日お急ぎ便」を選択して注文を確定してく
会員は無料)

- 圧縮袋サイズ: 約92x120cm / ポンプサイ
タ: 6.5x6.5x3.5cm
- 圧縮袋(1枚)165g ポンプ660g アダプタ8
材質: 電動ポンプ本体/主材料: ABS樹脂 ア
ダプタ(特殊ポリエチレン)フタ(一体式)/ボ
ンブ(ポリエチレン)弁/パッキン/NBR
日本(電動ポンプ/中国)
箱(長さ): 約1.4m
シングル敷きふとんなら1枚、ジ



あとで体験いただきます



ダイソーなど100均で売られてい
る「衣類圧縮袋」

コストをかけにくい民間所在資料
の救済にはこのように手軽なもの
を利用することが大切

水濡れ資料の応急処置法④

カビ有・濡れている場合＝冷凍保管

汚損古文書を
エタノール消毒



かたまりのまま保全した
汚損史料

水濡れ資料の応急処置法④

カビ有・濡れている場合＝冷凍保管

可能な限り史料 1 点ごとに分けて、**資料番号**を挟み込む

資料番号は**耐水性のある用紙**に書くのが望ましい（動画ではコピー用紙の短冊に鉛筆書き）

複数の史料が固着している場合は**無理にこじ開けたり分離しなくてもよい**（乾燥後に分離・展開が可能）

水損史料を冷凍する時は**可能なら1点ごと、あるいは、分厚さや大きさをそろえビニール袋に入れる**（解凍時の乾燥ムラを避けるため）。**無理な場合はかたまりごとにビニール袋に入れても可**。封はしなくてもよい（冷凍倉庫会社などの倉庫に入れる場合は、衛生面の配慮上密封することが求められる）



(大量の場合) 冷凍倉庫での冷凍保管

- 冷凍施設の確保…素人では容易に手配不可
- (株)西宮冷蔵がスペース無償提供
 - 段ボール箱に詰めた水損・汚損史料を冷蔵倉庫に搬入 (04/12/30)
 - 段ボールをさらにパレットに詰める (=写真)
 - 冷凍庫に収納された史料。日高町・出石町よりレスキューした史料は7パレット分 (段ボール箱42箱にのぼった) 05/3/25まで保管

阪神間の冷凍倉庫会社に断られた理由

- ①「一見さん」お断り
- ②お歳暮の時期で空きがない
- ③汚いものは入れられない

無償提供が可能となった理由

- ①西宮冷蔵の事情
- ②松下の知り合いのテレビ・ラジオに出演させた
- ③年末年始にボランティアに入ってもらった



▲水損史料のビニール袋詰め＝冷凍前処置



パレットを借りるのに本来は半月で7500円必要だった
(7パレット×3ヶ月×2×7,500円=31.5万)

東日本大震災時には奈良市場冷蔵やニチレイロジスティクスが支援 (但し大規模災害時のみ)。普通の台風では各地からの支援はほぼなく **各県で対応する必要**



災害時に冷凍施設を確保できるよう、**平時から各自冷凍庫を確保**したり、**企業と協定を結ぶ**など備えておく必要。大学内も冷凍施設あり (例: 愛媛大)

皆さんの地元ではどこで大量の冷凍保管が出来ますか？

台風23号の際には、冷凍保管している間にフリーズドライできる施設を探し始める

水濡れ資料の応急処置法④

カビ有・濡れている場合＝真空凍結乾燥



▲冷凍中の水損資料（2009年佐用町水害） ▲神戸大学の真空凍結乾燥機

- ・カビの進行を防ぐために、1点ごとにビニール袋に封入し、**冷凍保管**（マイナス20度以下）
- ・万が一の時の冷凍庫を用意しておくとい
- ・真空凍結乾燥機は、埋蔵文化財センターなどにあり
- ・平時から、大型冷凍庫や真空凍結乾燥機の場所を要確認

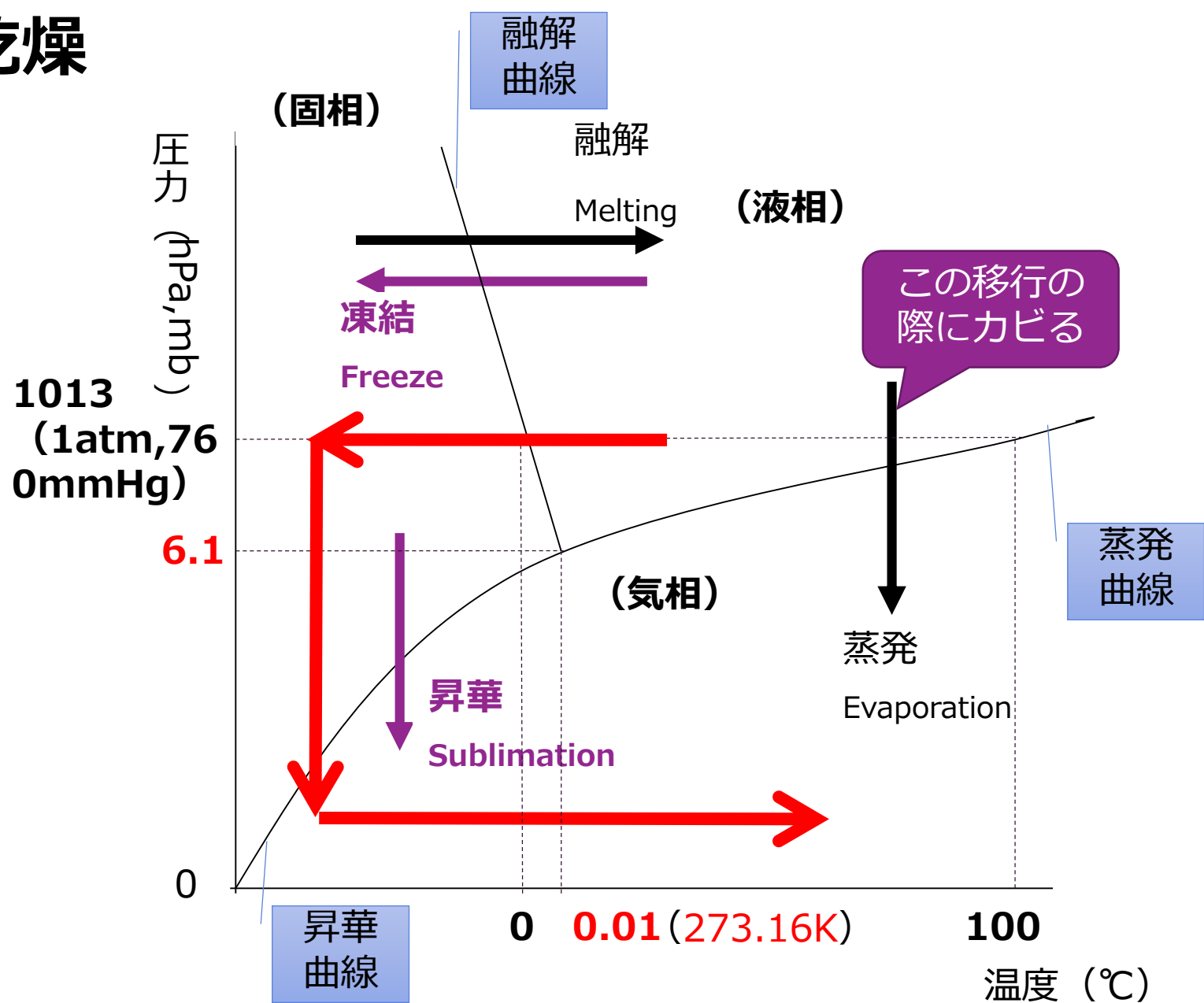
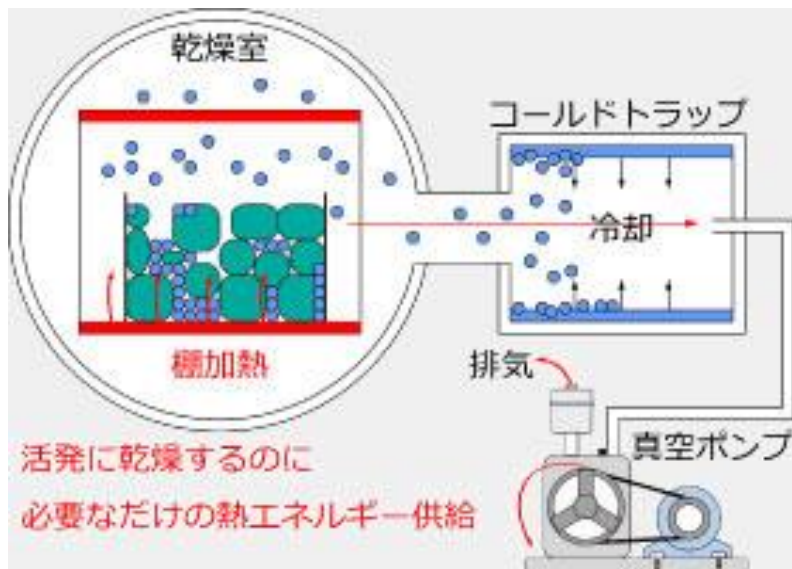
※どこの真空凍結乾燥機を借りることができるのかを、平時的うちに探したり協力要請をしておくべき

※購入可能なら冷凍庫を常備

意外と大学内にも冷凍・乾燥施設あり（例）愛媛大生物環境試料バンク（es-BANK）

真空凍結乾燥機による乾燥

- 真空凍結乾燥法の原理
 - 水が圧力4mmHg以下では、固体としての氷あるいは気体としての水蒸気にしかかなれない性質を利用
- 真空凍結乾燥法の利点
 - カビやゆがみを防止
 - 劣化をとめる

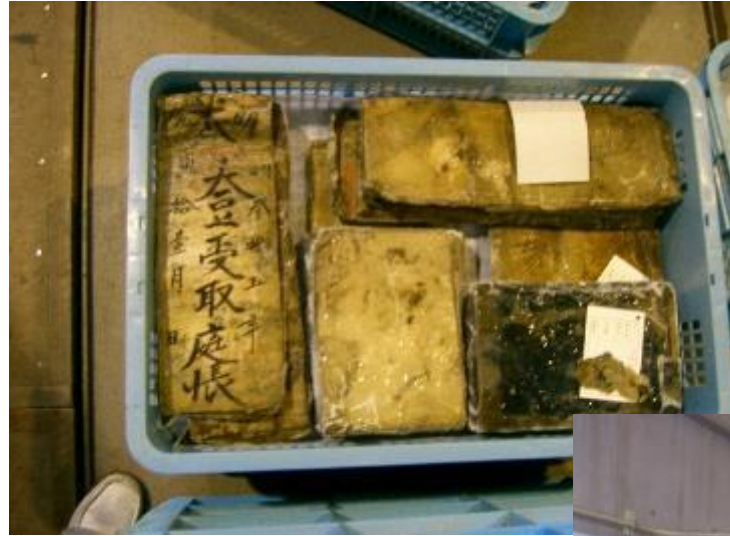


宝エーテーエムHPより

(参考) 2004年台風23号の場合

- ・ **真空凍結乾燥機**の確保…**兵庫県教育委員会文化財室、神戸市埋蔵文化財センター**の協力により真空凍結乾燥の実験（滋賀県に依頼するために乾燥までの取扱マニュアル作成）
- ・ **兵庫県教委文化財室の斡旋**…兵庫県教育長から滋賀県教育長に「平成16年台風23号災害により水浸し、レスキューした古文書に係る協力について（依頼）」を発出。**滋賀県立安土城考古博物館の真空凍結乾燥機**での乾燥を依頼してくれた

当時から近畿2府4県の**災害時相互支援の枠組み**あり。現在は関西広域連合+α



▲冷凍された水損史料

<受入条件>

- ・ 搬出入や整理…史料ネット
- ・ 責任…兵庫県教委
- ・ 対象…史料の取り扱いについて所蔵者が権利放棄をしたもの

最初は奈文研に依頼したがちょうど使用中のため、兵庫県内の2箇所で乾燥実験。ただし小さすぎて大量処理できず。より大きな機械を県に依頼して探してもらう



▲兵庫県教委埋蔵文化財室魚住分館と神戸市埋蔵文化財センターも乾燥作業に協力（05/5/24、同センターにて）

(参考) 2004年台風23号の場合



木製品処理の
ため埋蔵文化
財センターに
はあるはず

▲兵庫県教委の斡旋により、滋賀県立安土城考古博物館にて真空凍結乾燥を行うことに
(2005/3/25搬入)



▲安土城考古博にて真空凍結乾燥が終了。
薄様紙で史料を梱包し、大学へ搬送
(2005/6/2引取)

**皆さんの地元ではどこでフリーズドライが出来ますか？
平時から探し、災害時に貸与可能なよう事前協議しておく必要あり**

(参考) 2011年東日本大震災の場合 …奈良文化財研究所でのフリーズドライとドライクリーニング



大規模な災害が発生し、文化財等救援委員会が立ち上がった場合には、**奈良市場冷蔵の冷凍庫と奈文研のFD**を借りることができます。

▲世界最大の真空凍結乾燥機。乾燥機は直径1.6メートル、長さ6メートル。遺物用のコンテナ（縦53センチ、横36センチ、深さ31センチ）約120箱分が一度に処理可能

※真空凍結乾燥機がなくても冷凍史料を乾燥させる方法

2018年西日本豪雨
の現場では
**冷凍史料を真空
パック法で乾燥**
させる事例が登場

2 被災文書の保全活動

■被災文書の乾燥作業

- ・作業場所 文書館地下2階荷解室、2階研修室
- ・作業手順 濡れた文書に吸水紙を挟み込み、縦置きにして送風乾燥
カビはエタノールで抑制、換気に注意
- ・作業服装 防塵マスク(DS2)と使い捨ての手袋・エプロンなどを着用



- ① 濡れた文書のページを開き、吸水紙（キッチンペーパー新聞紙サンド）を挟み込む。
- ② 表紙と裏表紙をキッチンペーパー段ボールサンドで挟んで、スズランテープで縛る。
- ③ 文書を移動式書棚に縦置きにして、サーキュレーターで風を当てて乾燥させる。



▲▼ 広島大学での乾燥作業



▲7/30・31 史料ネットの支援
カビ損のひどい文書をポリ袋でパッキングして冷凍保管



▲固着した軸物の展開作業



▲8/8 青木睦氏のサポート

被災文書のレスキュー状況一覧表

▲広島県立文書館「西日本豪雨災害における被災文書の保全活動」ポスター発表より

水濡れ資料の応急処置法⑥

乾燥後の処置＝ドライクリーニング



▲東北大学での津波被災史料クリーニング

作業環境改善



資料保存器材「ドライクリーニングボックス」
57,200円（ボックス本体＋空気清浄機）

- ・ 泥やカビがついた史料を**刷毛や筆**でなでながら落としていく。
- ・ 粉じんを吸い込まないように**マスクを着用**し、ホコリやカビが舞わないように、**換気**をしっかりとおこなったり、**空気清浄機**を設置することも重要。
- ・ ページや袋とじを開く（**固着展開**）だけでも乾燥が進みます。

クリーニング
前



クリーニング
後



ドライクリーニング (乾燥した状態での汚れ落 とし) のグッズ

絵筆の先
をカット



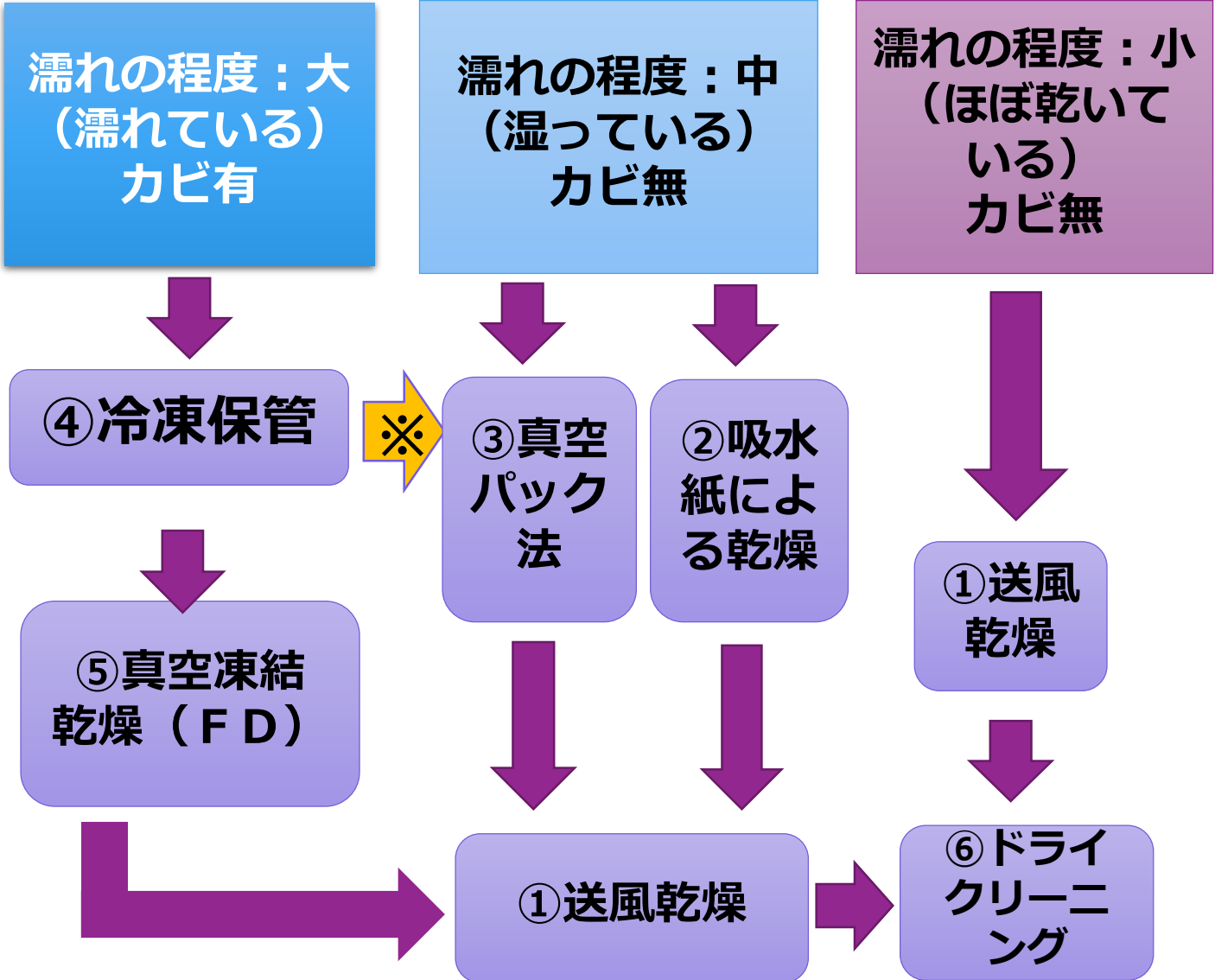
▲絵の具用の筆、ペンキ用の刷毛など。
ページめくり用に竹べらやコーキングヘラ、竹串などを使用する。

乾燥後の洗浄・修復処置（二次処置）

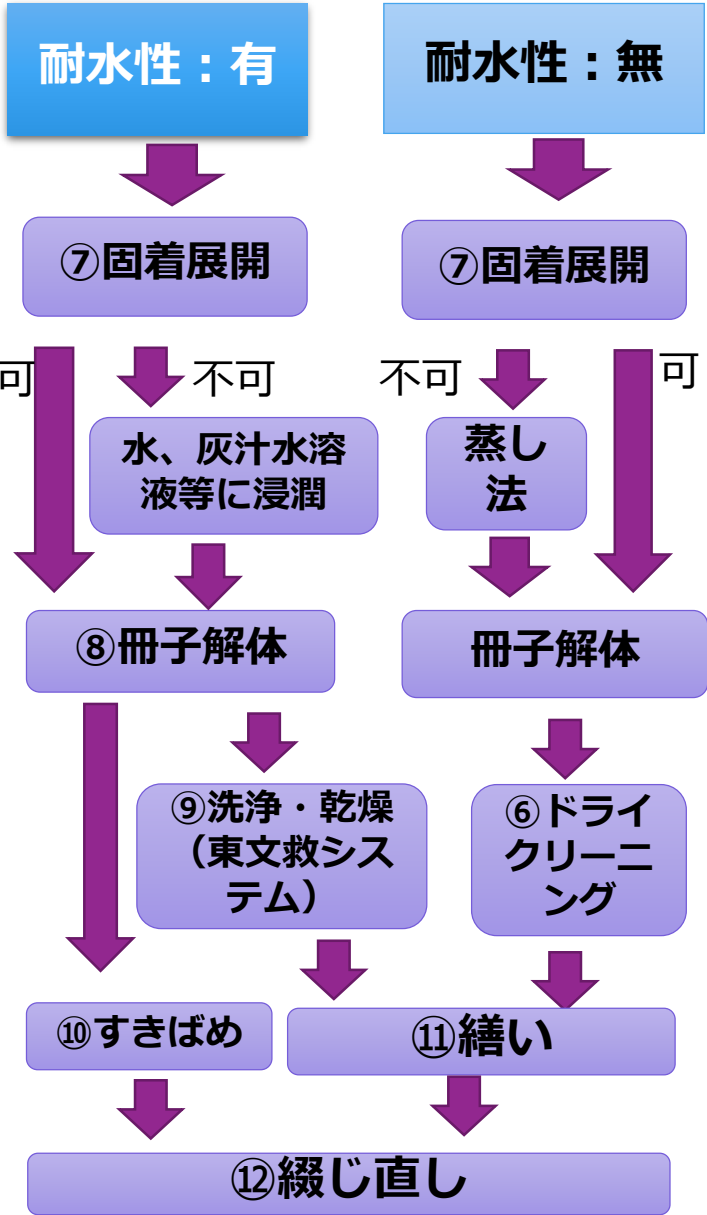
- ◆まずは一次処置（冷凍・乾燥）を済ませてから、二次処置へ
- ◆水を使うことは修復の領域に入ることとなる。その際は専門家の指導を仰ぐこと

水濡れ資料処置作業手順 (2021年段階松 downstream)

冷凍・乾燥処置 (一次処置)



乾燥後の洗浄・修復処置 (二次処置)

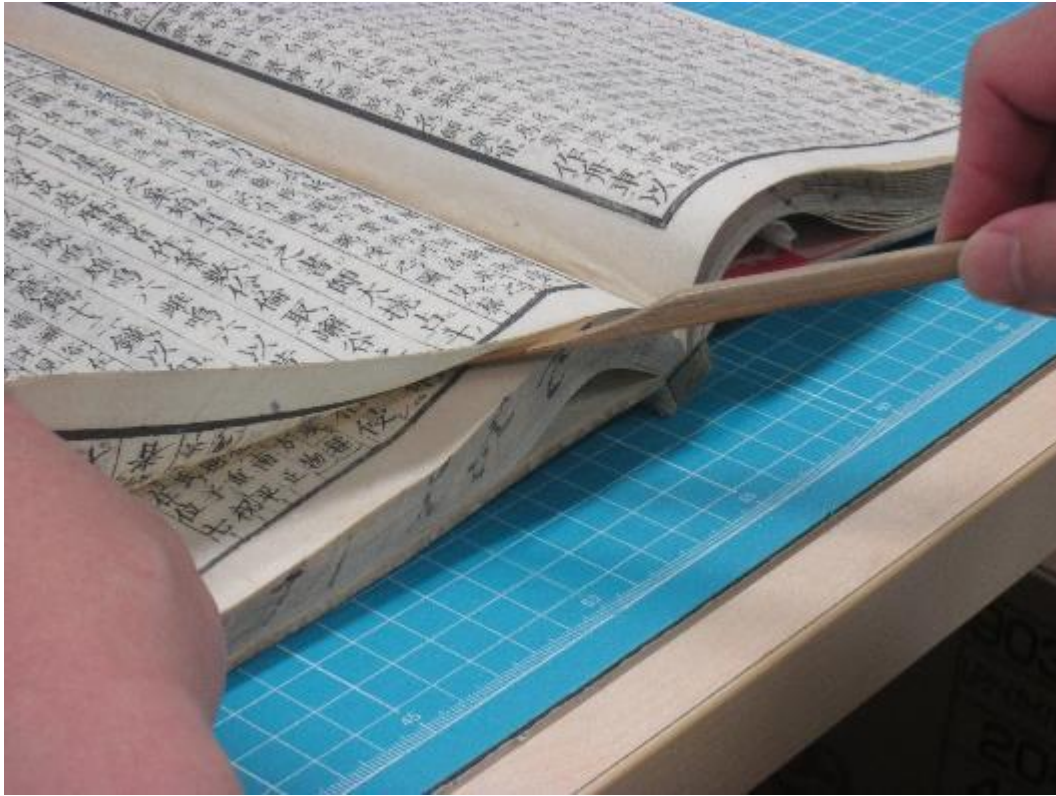


まずは一次処置を行い乾燥を済ませてから、二次処置へ

水濡れ資料の修復法⑦

固着展開＝へらやピンセットでくっついたページをはがす

応急処置の最終段階（ページの展開による乾燥促進）にも、修復措置の最初の段階（一紙ごとの解体）にもなる



▲へらを差し込み、くっついたページどうしを分離しているところ



▲ページをめくるだけではなく、袋とじを開いて中に空気を入れると乾燥が早く進む

水濡れ資料の修復法⑧

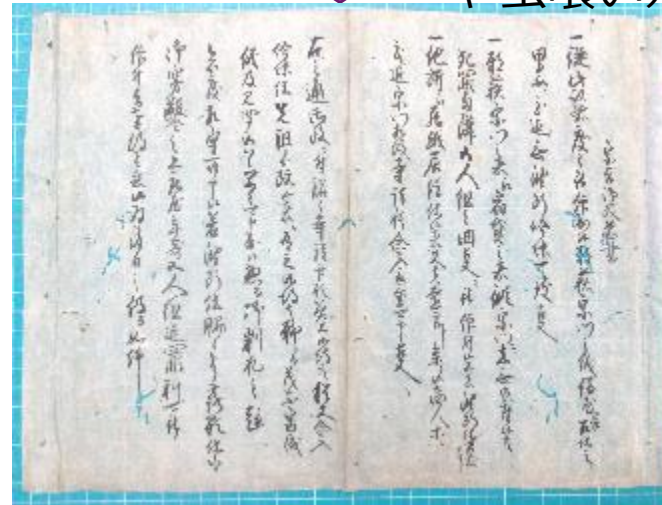
冊子解体＝袋綴じや綴じ紐等を外し、一紙ごとにばらす



一紙ごとに解体することで汚れの洗浄
や虫喰い穴の補修をしやすくする



解体する際には必ず
現状記録・写真撮影
を行う。袋とじが再
利用できない場合は、
綴じ紐とともに別途
保管しておく。



水濡れ資料の修復法⑨－1 泥汚れを落としたい場合＝不織布に挟んで洗浄



- ・汚損史料を不織布（水切りゴミ袋でも代用可）にはさむ
- ・カッターマットを下敷きにして、不織布の上から水洗い
- ・セルロース系スポンジで不織布の上から水分を吸収する
- ・キッチンペーパーに挟み、そのまま陰干し

※2009年水害時の尾立和則氏の方法



水濡れ資料の修復法⑨－２

泥汚れを落としたい場合＝東京文書救援隊（東文救）方式

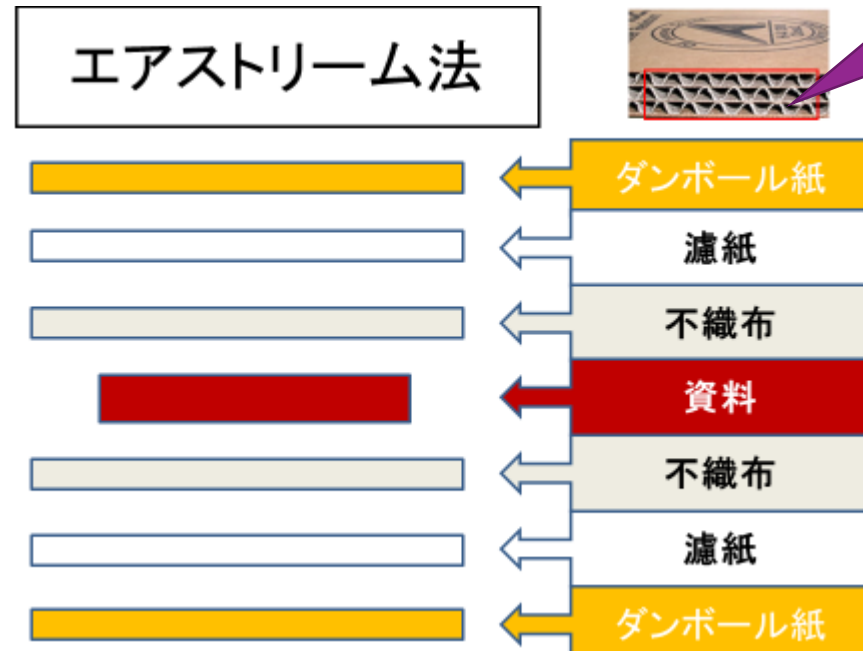
あとで体験いただきます



- ・ 水をはったコンテナの中に、**網戸の網**で汚損史料をサンドイッチして、**発泡スチロールの板**にのせ、浮かせながら**刷毛**で水洗いをおこなう
- ・ 網戸ごと取り出して、**セームタオル**の上で、粗く吸水乾燥をおこなう

水濡れ資料の修復法⑨－2

泥汚れを落とした場合＝東京文書救援隊（東文救）方式



フロートをめがけて風を送る

不織布は台所用の水切りごみ袋で代用可。
ろ紙は画用紙、キッチンタオルや新聞紙でも代用可。

- ・ 洗浄済みの史料を、不織布（水切りごみ袋でも可）で挟み、さらにそれを濾紙（画用紙でも可）で挟み、さらにそれを段ボール紙で挟んだものをタワー状に積み重ね、上から板・重しを載せ、段ボール断面に穴（フロート）のある方角から扇風機の風をあてて送風乾燥させる。
- ・ 一枚物の紙だと、2時間ほどで乾燥ができる。



上下を板ではさんで上から重しを置いているところ

臭い資料を乾燥させる際には、風を部屋の外に向かって当てる



段ボールで作った囲いの中に資料を入れ、この中に風を送ることで乾燥効率が少しでも上がるか

水濡れ資料の修復法⑩

虫喰い穴を埋めたい場合＝漉き嵌め（すきばめ）

◆シバンムシ（死番虫）類による食害



- 穿孔状に貫通食害する点で、少しでも厚みのある文書に発生しやすく、重なった部分を縦横に浸食しトンネルを作る
- シバンムシ類は、幼虫の時期に食害し、成虫（茶色の甲虫）になると外界を求めて巣立つ

◆シミ（紙魚）類による食害



- 文書の表面を舐めるように食害
- 隙間無く閉じた文書の中を食害することはない
- 和本の題箋部分はよく食害される（糊気を好む）

水濡れ資料の修復法⑩

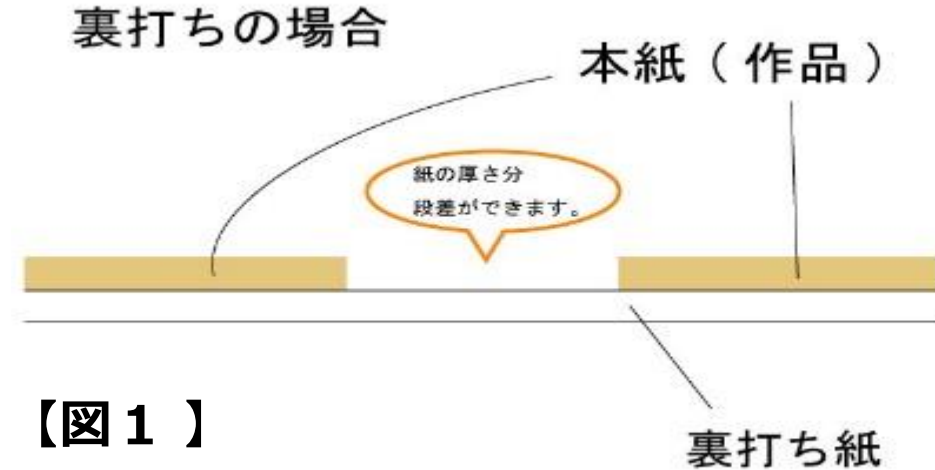
虫喰い穴を埋めたい場合＝漉き嵌め（すきばめ）

（株）工房レストアHPより

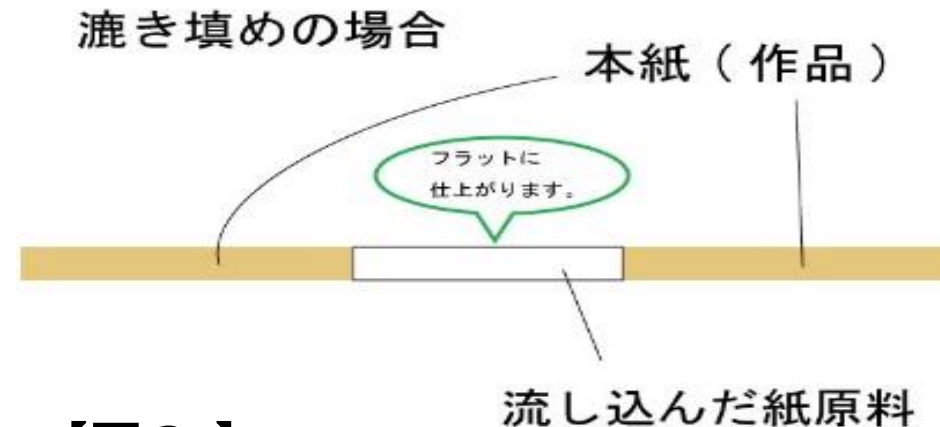
すきばめ（漉き嵌め）の原理

・紙漉きの流し漉きの技法を取り入れた修復技法で、修復する資料に資料と同質の紙原料液を流し込み、虫喰い・破れなどの欠損した箇所のみ新しく同質の紙を形成して修復する技法である。

・従来の裏打ち修復では必ず表面に段差が出来るが（図1）、すきばめだとこの段差が全くなくフラットに仕上がるというメリットがある（図2）。



【図1】



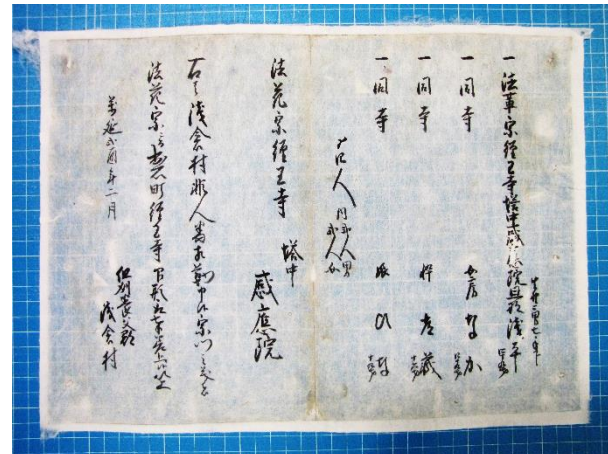
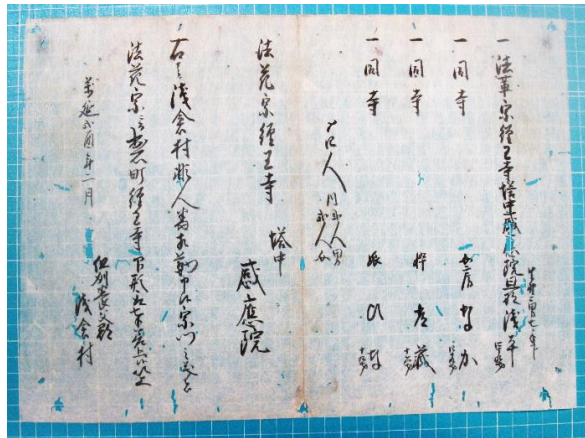
【図2】

■神戸大でのリーフキャストイングマシンによる漉き嵌め（すきばめ）

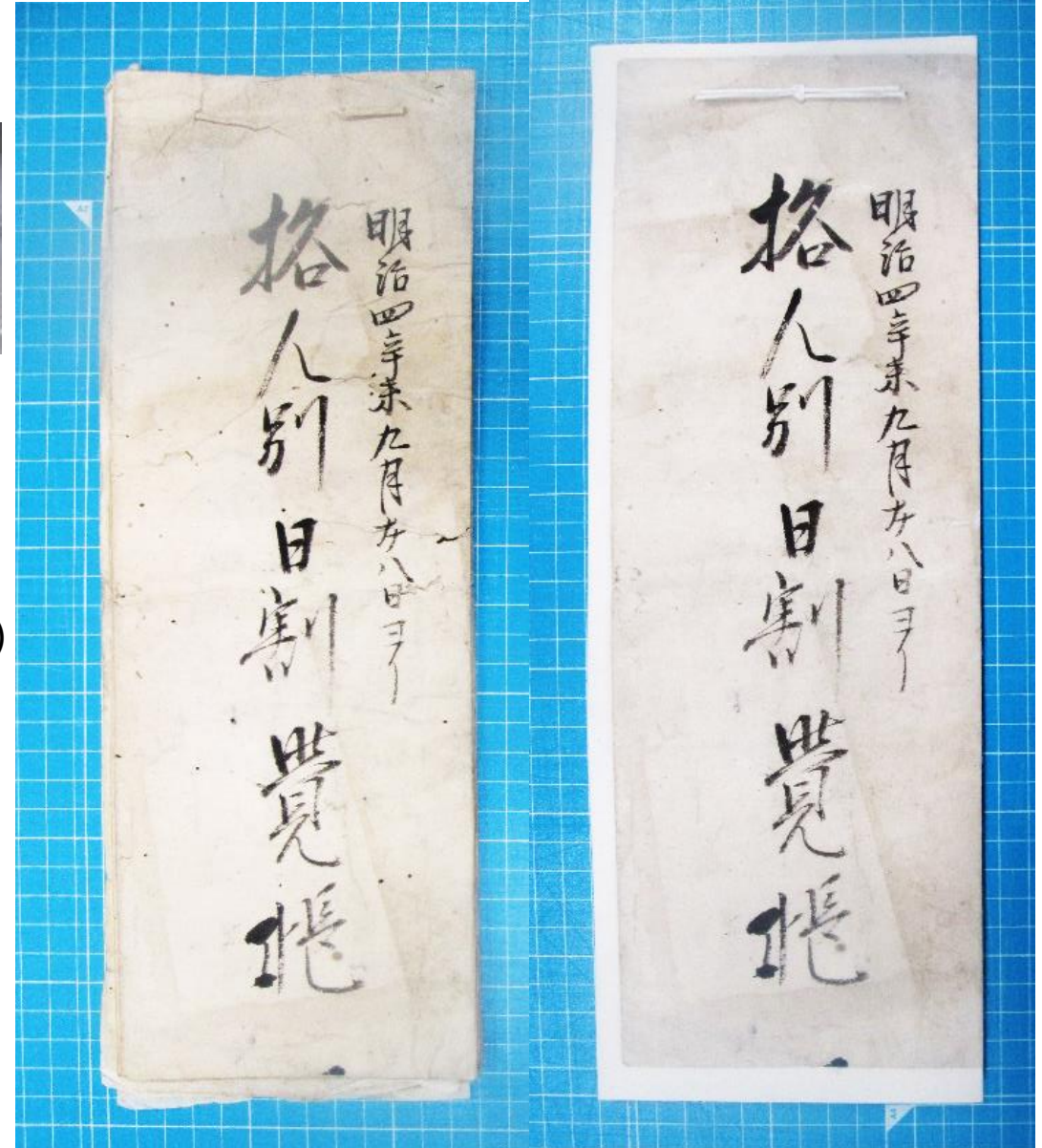


▲精製水に楮チップを入れミキサーで攪拌したものをリーフキャストイングマシンに流し込み、穴の開いたところだけを和紙の繊維で埋めていく手法

▲ニチマイ製リーフキャストイングマシン（2020年度より導入）



左＝すきばめ前、右＝すきばめ後



左＝すきばめ前、右＝すきばめ後

水濡れ資料の修復法⑪

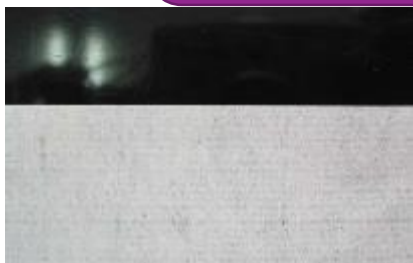
史料の簡易補修＝繕い（つくろい）



端を毛羽立たせてから糊付けすることで段差が小さくなり、仕上がりが綺麗に



「ひだか和紙」製品の補修用和紙（楮和紙の典具帖紙）で補修



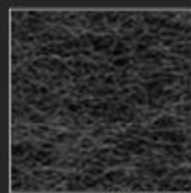
▲刃物で切断（＝左）喰い裂き（＝右）
くいざきとは、紙を濡らして引き裂くこと

典具帖紙

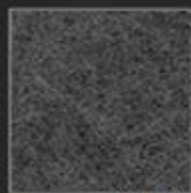
ひだか和紙HPより

古文書修復、書道、絵画、魚拓等長期保存用紙、ちぎり絵、押し花カバー、表装裏打ちに。塩素未使用漂白典具帖紙は長期保管、修復用に最適な塩素未使用、P.H.7.0前後の典具帖紙です。

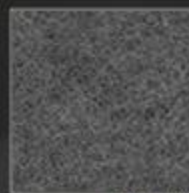
塩素未使用漂白 典具帖紙970mm（耳付）×640mm



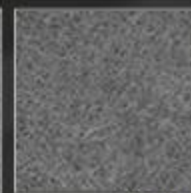
2.0g/m²



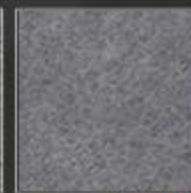
3.5g/m²



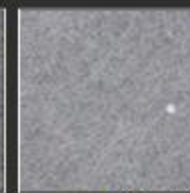
5.0g/m²



7.3g/m²



9.0g/m²



18.0g/m²

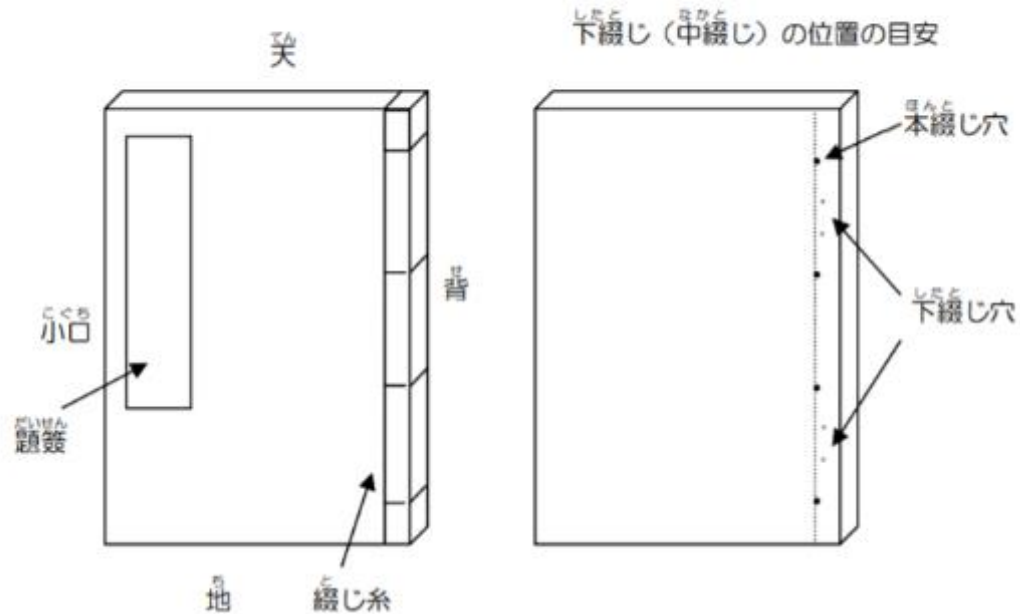
水濡れ資料の修復法⑫

綴じ直し=四つ目綴じなどで元の綴じ方に直す

四つ目綴じの綴じ方

和装本には、なんすほん卷子本、おりほん折本、でっしょうそう粘葉装、みくろと袋綴じなど様々な装丁があります。
ここでは一般的な袋綴じ、特にその中の四つ目綴じの綴じ方について説明します。

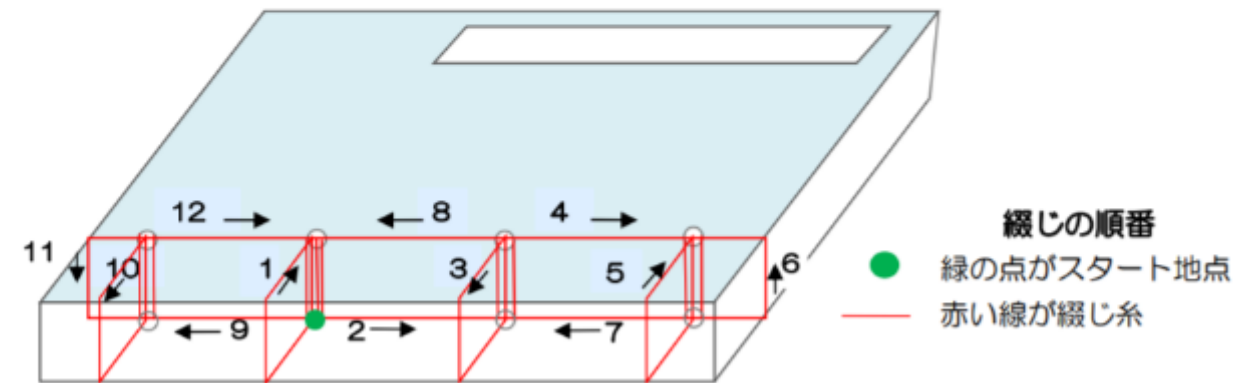
各部の名称



元の綴じ方が分からなければ決して解体してはいけません

2-2 四つ目綴じの綴じ方

1つの穴に最低3回は針を通すので、2回目以降、すでに通してある糸に針を刺さないよう注意する。



(参考) 段ボールサンド～公文書乾燥にも使用

2018年8月2日（木曜日） 段ボール板の提供

新潟市歴史文化課の長谷川伸さんから、カットした段ボール板200枚を送っていただきました。きれいにカットされた段ボール板はさっそく吸水乾燥作業に使っています。



▲広島県立文書館HPより

※**段ボールサンド**…段ボール紙にキッチンタオルを巻いたもの。段ボールがなければ新聞紙の束にキッチンタオルを巻いて使用しても可

簿冊の中の文書を取り出し、段ボールサンドではさんだ後に、**立てて乾燥**させます。

簿冊（リングファイル）の**背表紙は中身の文書と一緒に保管**します（文書と背表紙がばらばらにならないよう注意）

12

水損史料を救う

風水害からの歴史資料保全

松下正和
河野未央^編

岩田書院



水損史料を救う～風水害からの歴史資料保全～ (岩田書院、2009年)

松下正和・河野未央編
『水損史料を救う
～風水害からの
歴史資料保全～』
(岩田書院、2009年)

文化財防災ウィール

- 文化財防災ウィール（平成16年、文化財保存修復学会監修、文化庁発行）
- http://www.bunka.go.jp/eartquake/taio_hoho/pdf/jyoho_03.pdf
- <SIDE1> 災害に備えて／職員
の心構え／緊急時の対応
- <SIDE2> 基本的な救出の方法
／応急処置の用語集／緊急時
の応急処置



●動画で学ぶ－被災資料の応急処置方法を学べる動画

文化財防災ネットワーク推進室制作「文化財防災マニュアル」シリーズ

文化財は素材によって取り扱いの方法が大きく異なります。当事業では「文化財防災マニュアル」と称して、外部専門家の監修のもと、平成29年度より被災文化財の応急処置マニュアル動画を制作しています。また、付属品として、『文化財防災マニュアルハンドブック』も制作しており、PDF形式でダウンロードすることができます。

詳しくは「データ集」の「刊行物/制作物」にある「[文化財防災マニュアル](#)」ページをごらんください。

令和元年度制作 被災自然史標本の処置例と減災対策



平成30年度制作 被災民俗資料のクリーニング処置例（地震災害・水害）編



平成29年度制作 汚損紙資料のクリーニング処置例



文化財防災センターのHPから「**文化財防災マニュアル**」PDFファイルがダウンロードできるほか、動画で処置方法もご覧いただけます。一度アクセスしてみてください！

その他

自然災害で被災した資料の応急処置方法を説明した動画をご紹介します。

以下の映像は、制作された方のご了承を得て掲載させて頂いております。

水損紙資料

【乾いた状態で行うクリーニング】制作：東京文書救援隊



脆弱な資料は、資料にネットを被せ、資料が乾いた状態で、砂や埃を除去する方法が説明されています。

【水を用いた洗浄の方法】制作：東京文書救援隊



水を用いて、資料に付着した汚れを洗浄する方法が解説されています。

【乾燥の方法】制作：東京文書救援隊



洗浄した資料を乾燥させる方法が解説されています。

4. 大規模災害時に歴史資料を保存する理由

我々の活動が直接被災地の手助けになるわけではないが
個人・家・地域の歴史の保全が復興時の心の支えや災害発生の要因分析にも

そもそもそれぞれの地域に古代から現代にいたるまでの歴史＝地域史があり
その歴史を知るための根拠となるのが、地域に残された歴史資料

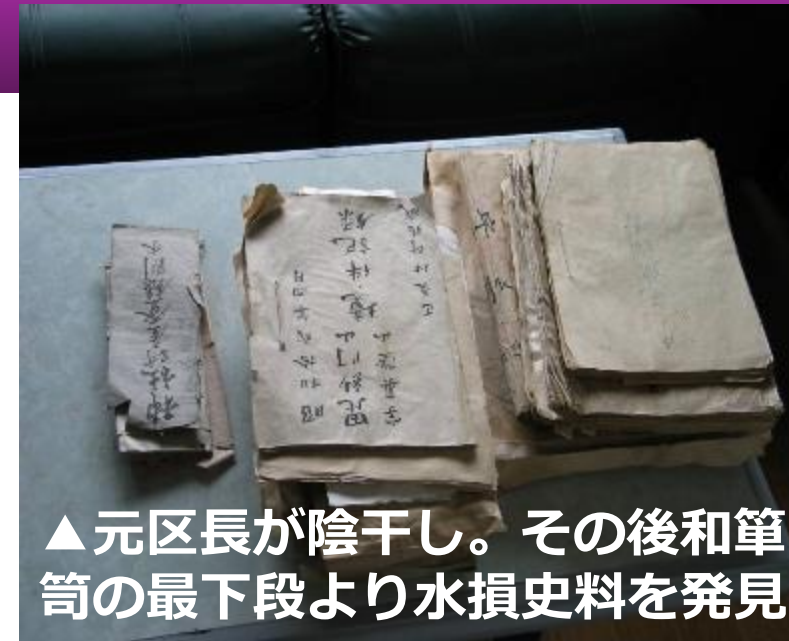
その地域資料は指定文化財など有名なものだけでなく、
みなさんの身近にあるもの、皆さんが大事だと思うもの＝地域歴史遺産が中心となる

旧家文書や区有文書のレスキューを受けた 方々の声（2004年台風23号・09年台風9号）

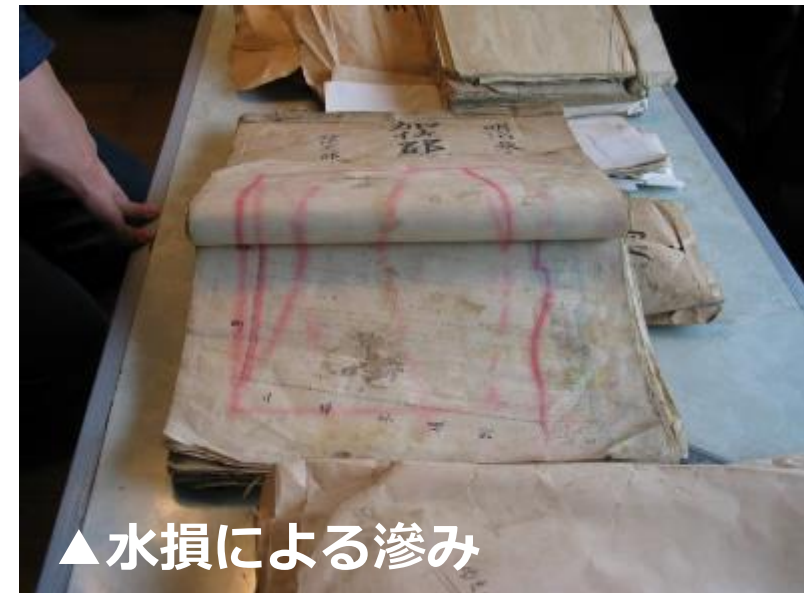
- ・「捨てるボランティアばかりが来てくれたけど、**拾うボランティア**もあるんだと感動しました」（佐用町O家）
- ・「台風直後は家の中もめちゃくちゃで古文書どころではなかったが、**傷んだ史料を修復するのも大変な作業**と思う。**歴史研究に役立てばうれしい**」（日高町浅倉Tさん、2004年11月28日付け産経新聞）
- ・「おかげさまで文書はよみがえりそうだ。**今後も集落の歴史を目に見える形で伝えたい**」（舞鶴市三日市Sさん、2005年2月18日付け朝日新聞）
- ・「区に**代々伝わってきた文書を水につけてしまい申し訳ない気持ち**だった。修復してもらえ本当にありがたい」（同上、2005年2月18日付け京都新聞）



家の歴史・集落の歴史の保全が、復興時の**心の支え**にも、**村の「これまで」と「これから」**を考える材料になることがわかった



▲元区長が陰干し。その後和筆笥の最下段より水損史料を発見



▲水損による滲み

乾燥済史料の返却 2004年台風23号被災資料

出石町日野辺区有文書の場合



仮目録と文書を入れる
保存箱を地元区長に贈
呈する奥村弘代表

▲区有文書返却式（2007/6）



▲展示会パンフ

埋蔵文化財の出土時
に**現地説明会**を行う
ように、文献も地区
住民への解説が必要
と考えた



▲区有文書の中身を紹介する木村修二氏



▲和筆筒から出て
きた水損史料
（2004/11/18）



▲文書入り和筆筒のミニ展示

(参考) 2009年佐用町大水害での被災資料レスキュー展@兵庫県立歴史博物館



▲特別企画展 阪神・淡路大震災20年「災害と歴史遺産―被災文化財等レスキュー活動の20年―」
(兵庫県立歴史博物館、2015年1月10日～3月15日)にて台風23号水損史料も展示



学芸員の方がレスキューに熱心に参加。ボランティア経験を展示や講演会などに企画化

展示会や講演会・WSで成果を地元還元
(2010年5月、於兵庫県立歴史博物館)

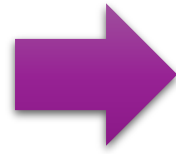
(参考) 2009年台風9号 (佐用町大水害) 其の後の展開 佐用郡地域史研究会での研修会 (2011/2/15)



▲佐用町教育委員会、佐用郡地域史研究会、史料ネットメンバーとともに下張りはがし作業

- ・地域史研究団体メンバーや被災地の住民の方々対象に古文書整理・撮影・修復、下張りはがしの方法をレクチャー
- ・現在も、レスキューした襖下張り文書の読解や研究発表が行われている

地元で活動が継続していることが大事



▲実物の古文書を用いて目録カード取りを学ぶ



▲古文書の撮影講座



▲こよりを作る参加者

福島県浪江町請戸（うけど）での大字誌づくり



- 浪江町文化財調査委員会の紺野寛光氏より依頼「**地元請戸の歴史を後世に残したい**」

『大字請戸誌』の構成

- 第1部郷愁編（住民の請戸に関する思い出）
- 第2部震災編（住民の震災体験）
- 第3部歴史編（中学生でも理解できる通史）

※通常の震災誌は、震災後の復興の歩みのみで過去と切断されたものが多い。

※古代以来の**歴史編**があるのが本誌の特徴

「浪江町請戸地区では今、大字の有志の方が津波で何もかもがなくなってしまったから、**せめて自分たちがどういうところに住んでいたのかをまとめておきたい、自分たちの地区の歴史を残したい**とお話をいただき…請戸の歴史を調べて簡単な本にしようという動きをしています」

（東北大学大学院泉田邦彦さんの発言、富岡町・福島大学・福島大学うつくしまふくしま未来支援センター編『ふるさとを 想う まもる つなぐ』）

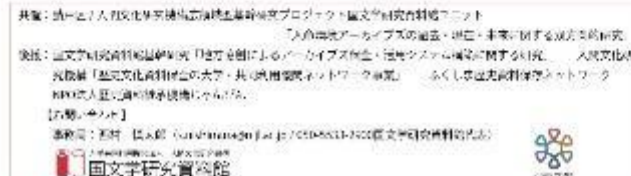


▲蕃山房、2018年4月刊

B! 0



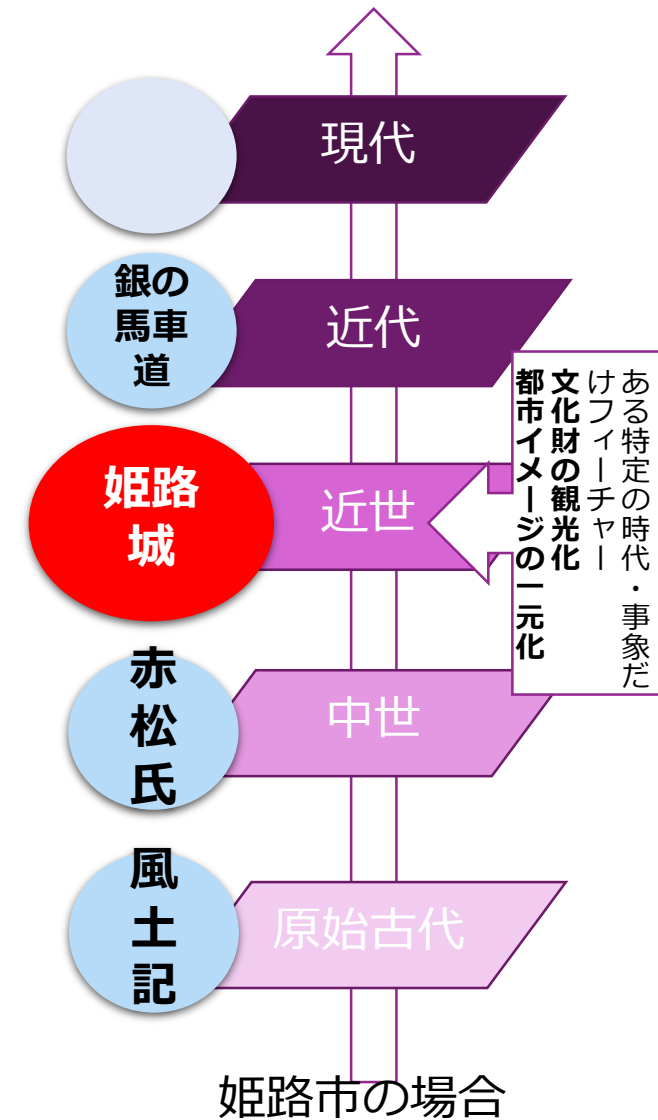
紺野さんは「天災は仕方ないが、人災（原発事故）はそうではないことを後世に伝えたい。地区の歴史をわれわれ（元住民）だけのものにせず、多くの人に知ってほしい」と話した。



請戸の歴史と文化を知る会

被災歴史資料レスキュー活動で感じた 地域住民との史料や地域イメージに関する認識のズレ

- 地域に残されている、**身近にある歴史資料**から**地域史**が成り立っているという意識が住民には希薄
 - **歴史資料**とは？…古文書、美術工芸品、金石文、民具、新聞、個人の手紙・帳簿・写真などの記録類など
 - どこにあるのか？…博物館・資料館だけではなく、旧家など**個人宅**や**公民館・集会所、学校、農協・漁協、寺社**など
- 災害を契機にスタートした地域の歴史資料レスキュー活動。日本史研究者の研究にとってだけではなく、**地域の歴史文化を活かした復興**にも役立つ。地域の家族の個人の「**存在証明**」となる
- 一つの地域に原始古代から現代に至るまで、**重層する歴史**の存在。しかし、通常はある時代だけに注目されることが多い。長いスパンで地域を捉える必要



小中高での社会科教育と地域に関する学習

- 教科書を中心記述

- 政治・経済・文化史、有名人中心（普通に暮らす**庶民の歴史**を正面から取り上げる機会少ない）
- 一つの地域にこだわった**地域史**を学ぶ機会なし（教科書に自らの住む地域が登場することは稀）

- 地域学習の機会

- 小学1,2年時 生活科
- 小学3,4年時 博物館訪問学習
- 総合学習ぐらいか？

※**大文字の歴史**＝オールジャパンの歴史

※「日本」という国家が成立する以前の歴史も取り扱う＝本来は日本列島史というべき

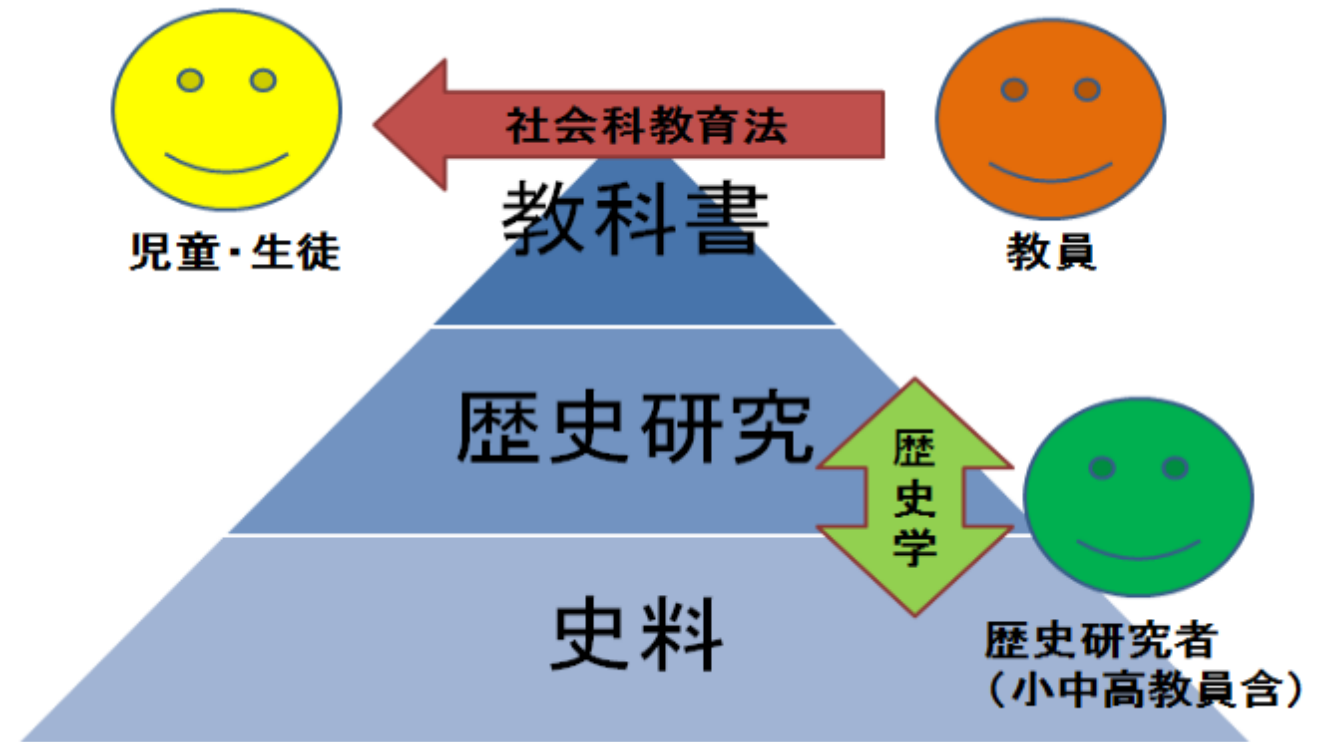
※自らの住む地域が登場しない教科書の記述を「歴史」とイメージすれば、日本の「歴史」であるのに、**自分の住む地域とは無関係な「他人事」**になってしまう！



記録史料の重要性 ～歴史資料から思い出の品まで～

- 個人の記録
 - 学籍簿、手紙・日記
 - 年金記録など 出席記録！
- 家の記録
 - 家族写真など
- 地域の記録
 - 旧家の古文書
 - 自治会文書など
- その他にも、役所の記録（公文書）、企業の記録など様々な記録史料がある

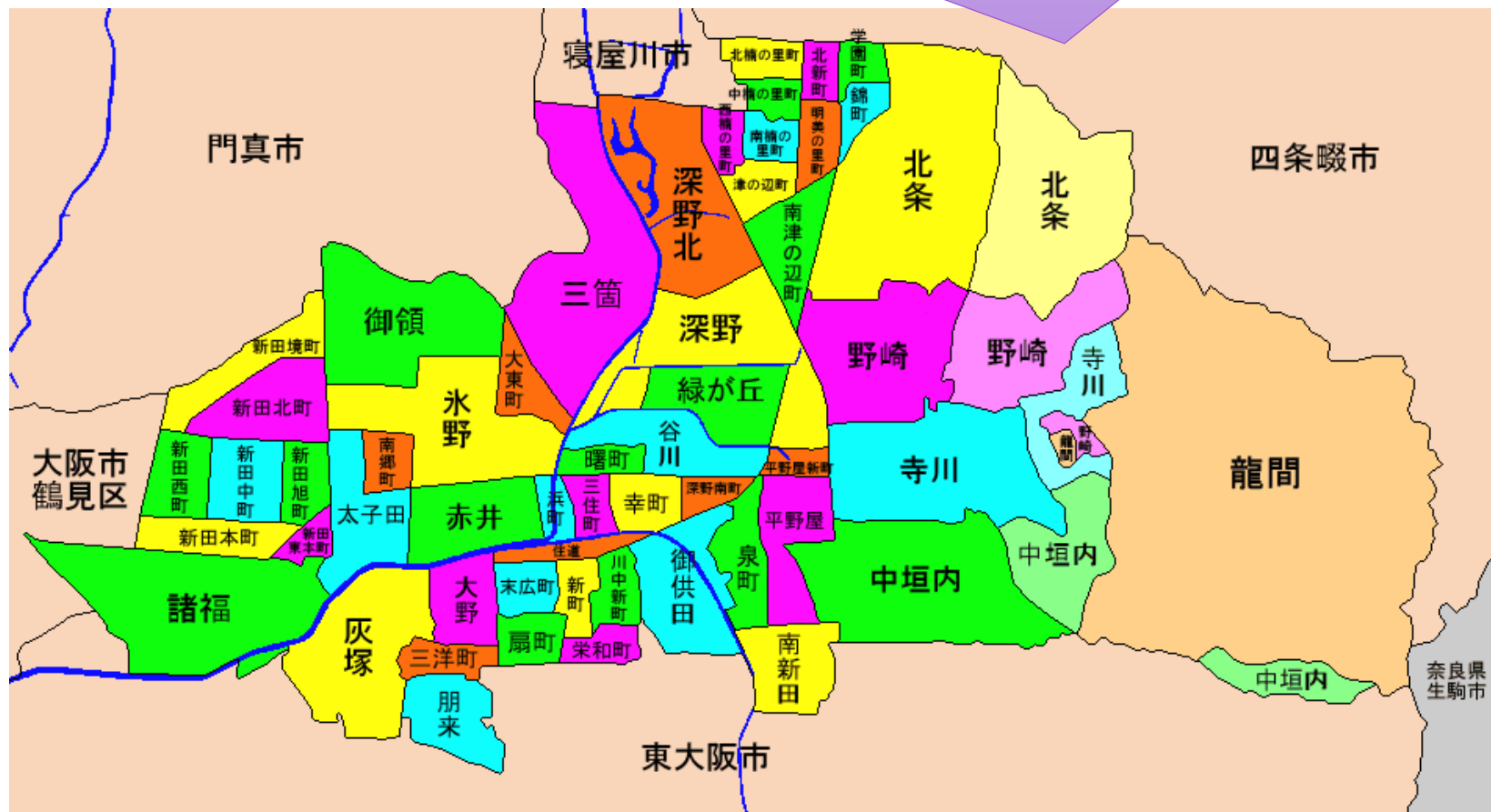
記録は「存在証明」
どこにでも、誰にでも歴史あり



「〇〇年に××があった」という事実認定が出来るのも「史料」が存在し、それを後世の歴史研究者が「史料批判」しているため

自治体合併を経て重要視される基礎コミュニティ 大東市域の変遷

※江戸時代以来の21村あり（集落数ではさらに何倍も。それぞれがコミュニティ）
※現在**52の自治会**あり



天保郷帳	讃良郡北条・野崎・寺川・中垣内・竜間・深野北新田・深野新田・深野南新田・三箇・尼ヶ崎新田・尼ヶ崎新々田・御供田・横山新田・中村新田・灰塚・御領・太子田村、茨田郡氷野・赤井・新田・諸福村、の計 21村 Cf.大東市の小学校12校 南郷・住道北・住道南・四条・四条北・深野・北条・氷野・泉・諸福・灰塚・三箇小学校
M22市制町村制の施行（明治の大合併）	讃良郡 四条村 （←北条・野崎・寺川・中垣内・竜間・深野北新田・深野南新田村）・ 住道村 （←三箇・尼ヶ崎新田・尼ヶ崎新々田・横山新田・中村新田・灰塚村）・ 南郷村 （←御領・氷野・赤井・太子田・新田・諸福村）の 3村
昭和の大合併直前の町村名	北河内郡の 四条町・住道町・南郷村 の2町1村
S30町村合併促進法（昭和の大合併）	S31に 大東市 誕生

重層的な地域構造

（奥村弘編『歴史文化を大災害から守る－地域歴史資料学の構築』東京大学出版会、2014）

※松下のまちづくりの基礎単位は、近世の村or明治の村程度の領域

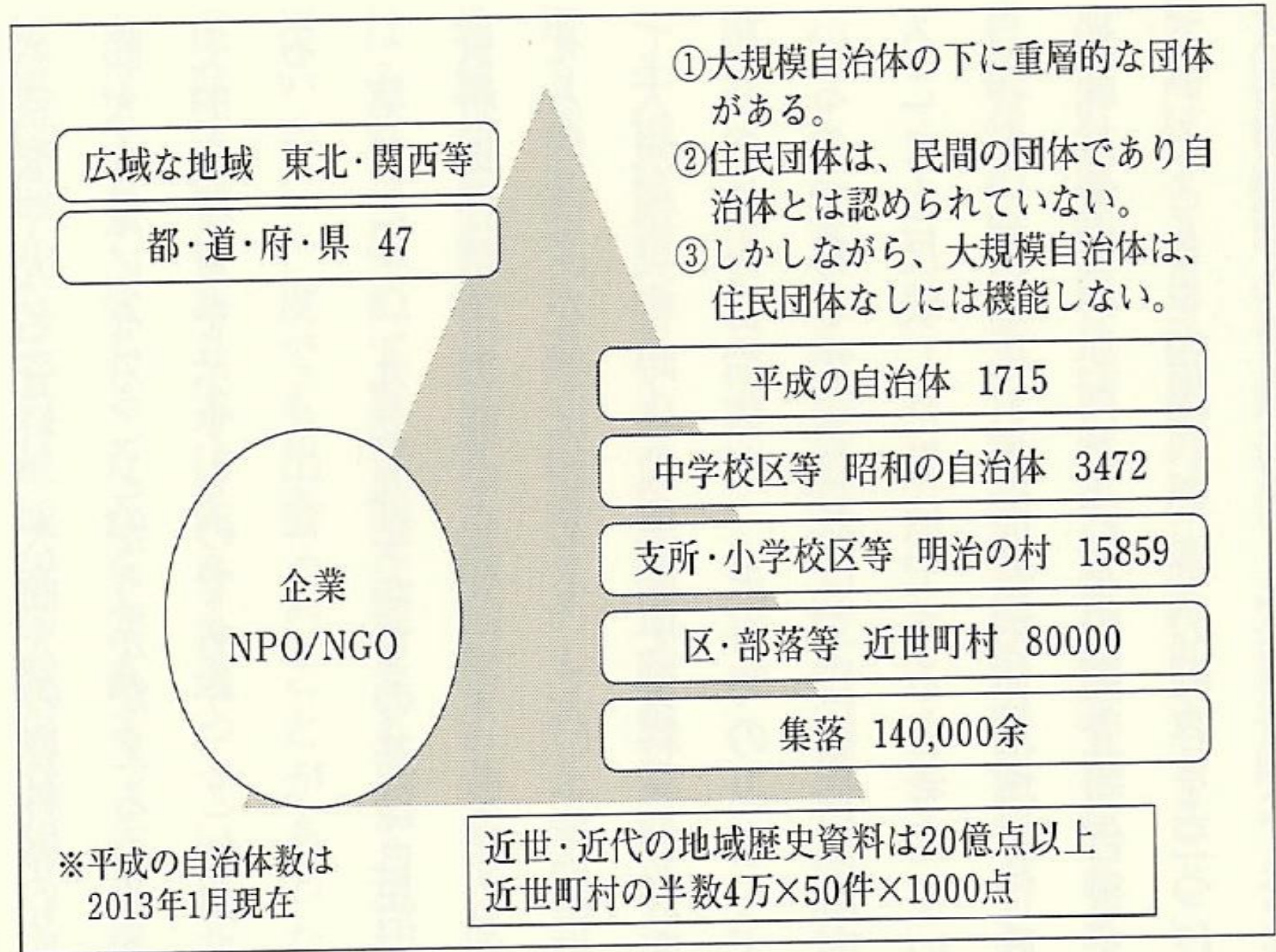


図1 日本の重層的な地域構造

科学研究費基盤研究（C）「自治会保管文書の恒久的保全・活用体制構築に関する研究」
（2017～20年、研究代表者・松下正和）



自治会で保管している古文書の調査にご協力をお願いします

＜調査の目的＞

自治会が保管している文書の中には、現在の自治会運営に関するもの以外にも、江戸時代の庄屋さんがかつて使用していたものや、明治時代から戦前にかけての古い文書が残されている場合があります。これらの古文書は旧村の歴史や先人の活動を語る貴重な記録であり、地区の「存在証明」と言っても過言ではありません。しかし、公民館の建て替えや、自治会長の交替わりなどをきっかけとして、残念ながら廃棄されるケースもあり、地区住民にとっても大きな損失といえましょう。

そこで、本プロジェクトでは、主に兵庫県内の自治会を対象として、自治会保管の古文書の種類や、これまで伝わってきた経緯、保存や廃棄の基準などを調査することで、滅失の危機から救うことを目的としています。この研究をもとにして、皆さまの地区で保管されている古文書の内容をともに読み解く中で、保存し活用していくことの意義を再確認し、自治会保管の古文書を末永く守り続けていただけるような仕組みづくりを提案したいと思います。

科研費 本プロジェクトは、平成29年度科学研究費助成事業（一般）（課題番号17K03081）「自治会保管文書の恒久的保全・活用体制構築に関する研究」（研究代表者・松下正和）の一環です。

具体的な作業と
皆様へのお願い

- ①区有文書を皆さんと一緒に整理、内容を調査します
（作業場所をお借りしたり、整理作業のお手伝いをお願いできれば幸いです）
- ②調査結果の説明会や古文書の即席展示会を開催します
（公民館をお借りしたく存じます）
- ③今後の保管方法（収納場所・収納箱・湿気や虫菌害対策など）について提案します
（地区での永続的な保管について、皆様と一緒に検討できれば幸いです）

研究代表者：松下正和
（神戸大学地域連携推進室特命准教授）
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1
神戸大学地域連携推進室
TEL：078-803-6504（研究室）
FAX：078-803-5389（代）
E-mail：m_matsushita@port.kobe-u.ac.jp

研究分担者：木村雄二・井上真・栗山京子
（神戸大学大学院人文学部研究科）

かつて**パブリック**な史料が**プライベート空間でも保管**されているのが日本の特質。これらが所蔵者・管理者個人的な努力で守られているのが現状。**現代社会の実情に応じた保管方法の確立**が必要

段階的な「現地保存主義」

旧家の古文書
近世や近代で村役を務めた家筋

区有文書
近代の大字
現代の町内会・自治会

近世文書
（江戸時代）

近代文書
（明治～戦前）

M4～11（大区・小区制）の村
…区長、戸長文書
M11～17（三新法）の村
…戸長役場文書
M22町村制の村…区長文書
S15～の村
…部落会・町内会・隣保班の文書
S22～の村…連絡区・自治会の文書

代替・建替・災害などにより消滅の危機

現代文書
（戦後～現在）

持ち回り慣行の廃止により
公民館・集会所へ

地区・家族・個人の存在証明である 民間所在の歴史資料を皆で価値付け することで保全・活用へ (コミュニティ維持とも関連)

※人口減少、都市部への人口流出や家族形態の
変化、**災害**などに伴う、空き家増・集落消滅
※史料を含む歴史文化や景観を守り伝えてきた
人々がいなくなる現状

- ・郷土史家の減少、多忙な中高社会科教員
- ・縮小される歴史・文化財部門（行政も大学も）
- ・「**地域総がかり**」で守るしかない（皆の関与で価値づく地域歴史遺産＝コミュニティの維持や災害時からの復興に多大な影響）

皆さんも、身近なところにある
地域史料保全の担い手になってください！

西日本豪雨で市道崩落、集落消滅の危機に 宍粟 最後の世帯転居準備



築200年の自宅を離れる栗山文治さん。みつあさん親子。今年の冬は雪下ろしができないため、家が壊れないか気掛かりだ＝大栗市一宮町河原田



西日本豪雨から4カ月たっても道路が崩れたままの市道。冬場に除雪車が通るのは危険だという＝宍粟市一宮町河原田



文治さんは15年ほど前に体調を崩し、実家に戻った。みつあさんは「ずっと住んできたからここがええ。町に出たらほける」。文治さんも「勝手に分かったこの家ならお婆あは一人で何でもできる。元気な間はここで暮らしたい」と話す。

ただ最後の世帯になり、行政などから心配されることが増えた。除雪できないとみつあさんが通院できないこともあり、新たに家を借りた。道路が崩れればまた阿舎利に戻りたいという。ただ、それもみつあさんが元気な間だけだ。

「山奥での生活を維持するには、除雪一つでも行政の経費がかかる。迷惑はかけられない。さみしいが、農村も仕方ない」と力強く笑った。（古根川厚也）

西日本豪雨で被害が集中した兵庫県宍粟市一宮町河原田地区の山奥に、冬場は雪に閉ざされる「阿舎利」という集落がある。その最後の住人、栗山文治さん（59）、みつあさん（89）親子が先祖代々暮らした家から生活拠点を河原田中心部に移す準備をしている。集落に通じる唯一の市道が一部崩落したままでも今年の冬は除雪車が通れないからだ。米曹以隣も自宅に戻る回数は減る見込みといい、歴史を刻んだムラがまた一つ農村の瀬戸際に立たされている。

被害発生から7日で4カ月になる。河原田中心部から阿舎利に向かう約6キロの狭い道を走った。3キロほど進むと対岸に大規模な土砂崩れの跡があり、川底には大量の流木。少し先で路肩が1メートルほどの幅で崩れ落ちていた。市によると積雪期に除雪車が通るのは危険で復旧時期は未定という。

この先も数カ所で路肩が陥没し、尾端には倒木が引っ掛かったまま。ようやく森を抜けると、廃屋が立ち並ぶ集落があった。

阿舎利は標高約600メートルの谷あいであり、冬場は1～2メートルの雪に覆われる。終戦直後は10世帯60人ほどが暮らしたが、現在は栗山さんの1世帯2人しか残っていない。

市などによるとたたら製鉄に関わる人々や木地師、修験者が開いたとみられ、播磨国風土記に「鉄を生ず」と記された「金内川」は現在の阿舎利川とする説が有力だ。集落には多くの製鉄遺跡が残るが、ほとんど未発掘だという。

栗山さんの自宅は築200年ほどといい、最も古い位牌には江戸前期の延宝7（1679）年と記されている。文治さんはこの家で5人きょうだいの末っ子として生まれた。

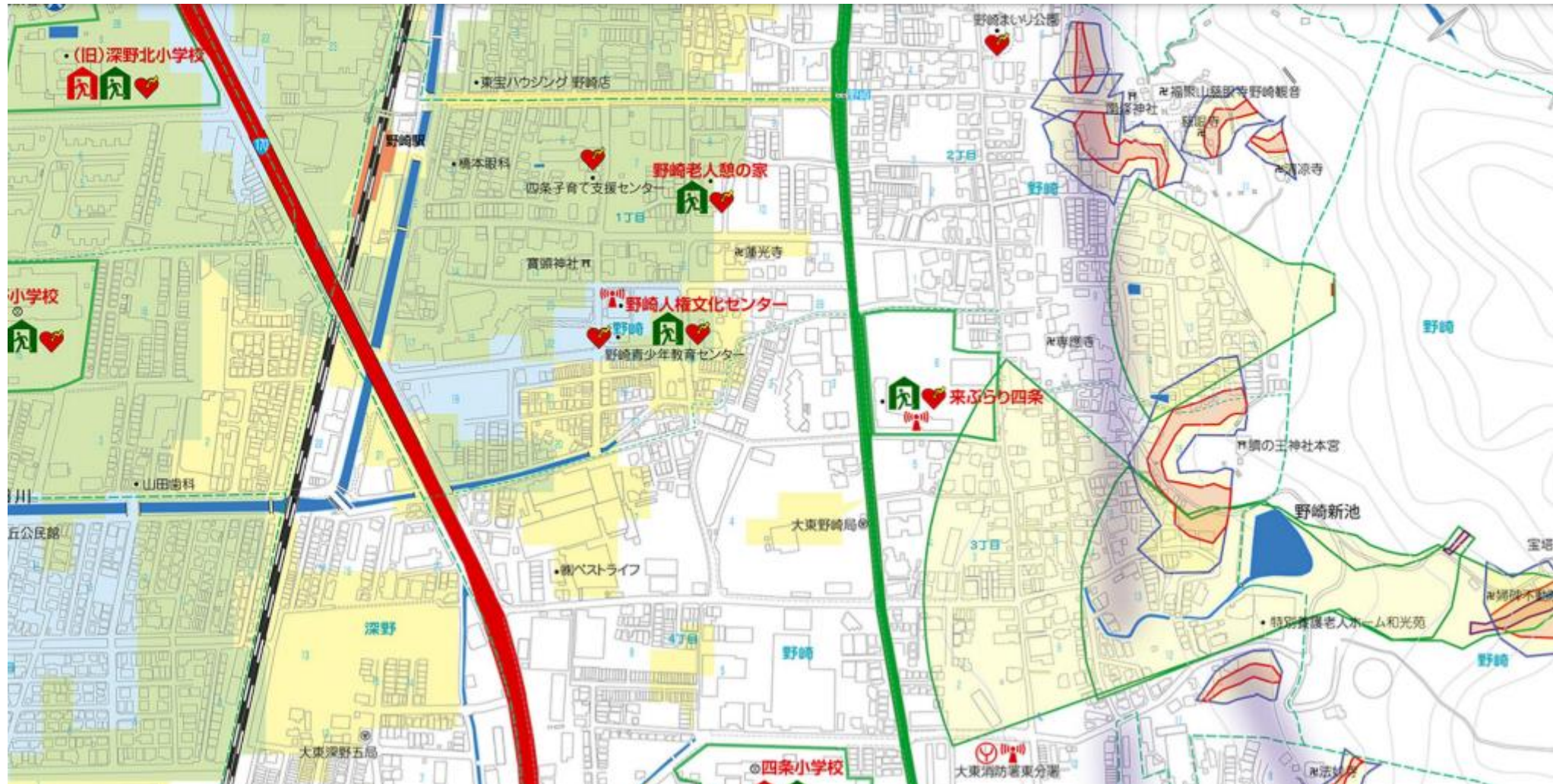
小学3年までは尾根の向こうの満谷集落（一宮町公文）にあった三方小学校満谷分校に山道を歩いて通った。当時は阿舎利にも同級生が1人いたが、本校に通う4年になると文治さんだけになり、分校も廃止。冬場は雪で通学できないため小学校近くで下宿し、中学卒業後は家を出て働いた。

その頃から、住民は徐々に集落を離れていった。旧一宮町長の故栗山辰雄さんも住人だったが、5期途中で1988年に死去。旧来の住人は栗山（文治）さん宅だけに。移住者が数世帯あったが、はりま田舎暮らし交流会会長も務めた廣島昭一さんが2年前に死去し、ほかに阿舎利で暮らす人はいなくなった。

おわりに わたしたちにできること

- 地元を襲った災害（地震・水害など）の歴史や 地理的特質を知る…「大阪府を襲った主な災害」HP、ハザードマップの活用
- 身近なところにも歴史資料はあります！
これらは家や村の「存在証明」そのもの
→捨てないで！売らないで！まずは相談を！
- 歴史資料（記録）の守り方を知り、伝えて欲しい
水損資料への対処方法を知り、伝える
→濡れてもあきらめずに吸水乾燥を！

大東市総合防災マップ（大東市詳細地図5）の活用



▲大東市総合防災マップ

平時からの備え－行政の皆さんに期待すること－

- そもそも被災に遭わないorたとえ被害に遭っても最小限に食い止めるための環境整備 **冷凍庫**の確保 一時保管場所の確保
- 館内の防災対策＋地域の史料保管者への被災資料相談先・応急処置法の**周知**、応急処置**人材養成**
- 平時からの地域歴史資料の**所在**・所蔵者**把握**の必要性（自治体史編纂時の悉皆調査データの引き継ぎ・更新、首長部局から教育委員会への移管）
- **地域防災計画**や**B C P**に文化財**等**保存の項目を ※「等」によって指定以外も対象
 - 大阪府は？ C f. 兵庫県文化財防災研修会、県博協規約（他館への災害支援）
 - 広域連携の体制は？ C f. 中部・近畿文化財防災連絡会議など
- 改正文化財保護法（H31.4～）に伴って
 - **大阪府の文化財保存活用**大綱は？ 複数市町村にまたがる広域連携（防災・観光・教育など）
 - **市町村の文化財保存活用地域計画**は？ 域内の文化財把握調査 未指定を含む文化財防災対策・災害発生時の対応方針

皆さんへのお願い

お住まいの都道府県市町村の**地域防災計画**や、
職場や大学の**防災規定**をご存じでしょうか？
もし見たことがなければ、調べてみてください。

（例）大阪府**地域防災計画**（R1.11修正版）

http://www.pref.osaka.lg.jp/kikikanri/keikaku_higaisoutei/r1_11_kihontaisaku.html

（例）大東**市地域防災計画**（H26.12改訂）

<http://www.city.daito.lg.jp/kakukakaranoosirase/kikikanri/daitoushichiikibousaipian/1506500380552.html>

大阪府地域防災計画 基本対策編（令和元年11月修正）

災害予防対策第3章災害予防対策の推進／災害応急対策第6章二次災害防止、ライフライン確保

災害予防対策

第3章 災害予防対策の推進 第1節 都市防災機能の強化

第1節 都市防災機能の強化

府、市町村をはじめ防災関係機関は、防災空間の整備や市街地の面的整備、土木構造物・施設の耐震・耐水対策等により、災害に強い都市基盤を計画的に形成し、都市における防災機能の強化に努める。

都市の防災機能の強化にあたっては、周辺山系山麓部、河川、幹線道路、都市公園等のオープンスペースを活用しながら、連続的な防災空間の整備を図るとともに、住民の主体的な防災活動や安全確保に必要な都市基盤施設の整備に努め、その際、「災害に強い都市づくりガイドライン」を活用する。

府は、「大阪府都市整備中期計画（案）」等に基づき、安全で安心できる都市づくりを目指し、都市型水害への対応、洪水・高潮・土砂災害への対応、安全な市街地を支える都市基盤の整備等を重点的に推進する。

地震発生時の市街地大火による被害の抑制に関しては、市街地の不燃化促進、延焼遮断帯の整備、広域避難場所の確保等、広域的な都市防災施策に関する都市計画上的方針を示した「大阪府防災都市づくり広域計画」に基づき、市町村の都市防災対策を促進する。

市町村は、「災害危険度判定調査」の実施及び住民公表に努めるとともに、「大阪府防災都市づくり広域計画」に基づき、「防災都市づくり計画」の策定に努め、都市防災構造化対策を推進する。

総則

災害予防対策

災害応急対策

3 予防体制の確立

- (1) 初期消火と自衛組織の確立
- (2) 防災関係機関との連携
- (3) 地域住民との連携

4 消防用設備の整備、保存施設等の充実

- (1) 消防用設備等の設置促進
- (2) 建造物、美術工芸品保存施設の耐震構造化の促進

災害応急対策

第6章 二次災害防止、ライフライン確保 第2節 民間建築物等応急対策

第2節 民間建築物等応急対策

関係機関は、建築物の倒壊、有害物質の漏洩、アスベストの飛散等に備え、施設の点検、応急措置、関係機関への連絡、環境モニタリング等の二次災害防止対策を講ずるとともに、二次災害への心構えについて住民の啓発に努める。

総則

第4 文化財

指定文化財の所有者又は管理責任者は、被災状況を調査し、その結果を市町村を経由して府に報告する。府は、被災文化財の被害拡大を防止するため、市町村を経由して所有者又は管理責任者に対し、応急措置をとるよう指導・助言を行う。

第5 文化財

府及び市町村は、府民にとってかけがえのない遺産である文化財を、災害から保護するため、防災意識の高揚、防災施設の整備等を図る。

- 1 府民に対する文化財防災意識の普及と啓発
- 2 所有者等に対する防災意識の徹底

未指定文化財についても
災害発生時に保全の対象となるように、
業務として文化財の被害確認ができるように
あらかじめ明記してもらうことが必要
(もちろん住民の生命を守ることが最優先)

大東市地域防災計画（H26.12改訂）

総則・災害予防対策

第2編災害予防対策

第1章災害に強いまちづくり

第2節建築物等の安全対策の推進

3. 文化財の保護

文化財は、貴重な国民的財産であることを十分に認識し、予想される災害に対して、保存のための万全の配慮を行うとともに、良好な状況のもとに文化財を維持管理するよう努める。

（1）文化財防災意識の普及と啓発

文化財保護強調週間、保護月間、防火デー等の行事を通じて所有者、市民、見学者等に対して、文化財防災意識の高揚を図るための啓発活動に努める。

（2）予防体制の確立

文化財保護対象物を所蔵する建造物の周辺を火気使用の制限区域に指定し、市民、見学者等に対し周知を図るため、標識等の設置などを推進するとともに、所有者等に対する防災意識の徹底、初期消火・自衛体制の確立、関係機関及び地域住民との連携強化などによって、予防体制の確立を図る。

（3）消防用設備等の整備、保存施設等の充実

文化財保護対象物を所蔵する建造物に対して、耐震構造化の促進、消防用設備等、避雷設備などの防災設備の設置または改修を促進するとともに、保護対象物の保存施設の整備・充実並びに警備体制の充実を図る。

地震災害応急対策・復旧対策

第1編地震災害応急対策

第2章応急復旧期の対策活動

第13節応急教育等

6. 文化財の応急対策

文化財保護条例等で指定されている文化財（以下「文化財」という。）の被害調査を行うとともに、その応急復旧に協力するよう努める。

（1）地震発生後、速やかに市内の文化財の被害について調査し、被害状況を把握するとともに、必要な情報については、府教育委員会に報告する。

（2）被害調査後、判明した状況から文化財の所有者または管理者に対し必要な指示を行い、被害の拡大防止と保護に努める。

自治体史編纂時に利用してた歴史資料等についても台帳の整備が望ましい。火災だけではなく水損などについても想定が必要。被災時の連絡先に「史料ネット」組織も入れてほしい

姫路市地域防災計画 地震災害対策計画編（R1修正版） 災害応急対策計画第10章文教対策第2節文化財対策の実施

第2 文化財救護チーム

私が見た中で一番アグレッシブな地域防災計画！

1 組織

避難所班は、被害調査後、判明した状況から文化財を早急に保護する必要があると判断した場合、日本城郭研究センター、美術館、文学館、美術工芸館等の学芸員等を中心に文化財救護チームを組織するとともに、配置計画を作成する。

2 活動

文化財救護チームの活動対策は、指定文化財を原則とするが、個人所有の未指定物件についても重要と思われるものは、所有者及び管理者に対して必要な指示を行うものとし、梱包等所要の作業を施したのち、安全な場所に一時保管して文化財を保護する。被害を受けた文化財は簡易修理を施す。

また、活動範囲は、姫路市内に限定せず、播磨地域全域において活動する。

3 専用資機材、物品の確保

避難所班は、文化財を梱包・搬出するための専用資機材・物品は、あらかじめ備蓄されたものから利用し、不足する場合は近隣市町から調達する。

大阪府の状況（第1章）

大阪を取り巻く現況

持続可能な地域づくり

地域力の維持、全員参画
社会の実現をめざす取組

大阪の成長飛躍

大阪・関西万博等を契機と
する誘客、都市魅力の向上

次世代を担う人材育成

子どもたちの豊かでたくまし
い人間性のはぐくみ、高度人
材の育成

災害対応力の強化

大阪北部地震などを教訓と
する防災対策、災害発生時
の対応力強化

SDGsの達成

SDGs先進都市をめざす取組
ターゲット11.4 文化遺産
保全の取組

大阪における文化財の保存・活用の課題

保存

○文化財調査とそれに基づく適切な指定等
○維持管理・保存修理等（特に個人所有の文化財における継続的な維持管理）

活用

○歴史や文化財に興味関心のない人に対して文化財を知ってもらう機会を作り、文化財への理解につなげる取組の促進
○保存に悪影響が生じないようバランスのとれた保存・活用のあり方の構築
○地域住民の理解向上

人材

○専門職員の確保と継続的配置／所有者の情報共有の場の整備／幅広い担い手確保

条例・計画

○条例未制定自治体への対応／各種計画の策定による施策の実施

経費負担

○経費負担のあり方を含めた、持続可能な保存・活用の仕組みづくり

めざすべき姿・基本理念・基本方針（第2章・第3章）

基本理念

めざすべき姿

歴史が輝き未来と織り成す魅力都市・大阪

1 文化財の適切な保存・活用による次世代への確実な継承

2 文化財の適切な保存・活用による継続的な地域の維持発展

基本方針1 文化財を確実に保存する

- 1－1 個々の文化財を確実に保存する
- 1－2 文化財を面的に保存する

基本方針2 文化財の価値を伝え、活かす

- 2－1 文化財の価値を分かりやすく伝える
- 2－2 文化財を核とした取組により地域の発展に貢献する

基本方針3 地域社会全体で文化財の保存と活用を支える

- 3－1 地域社会全体で支えるための基盤をつくる
- 3－2 文化財の保存・活用を支える人材をつくる
- 3－3 社会状況に対応した仕組みをつくる

文化財の保存・活用を図るために講ずる措置（第4章）

文化財の保存・活用における役割

国 わが国にとって重要な文化財の指定等／府・市町村・所有者等に対する指導／経費の補助

府 ①広域的な文化財の保存・活用の施策
②市町村に対する支援（国との調整／専門的・技術的な指導・助言／職員の能力向上／計画策定支援／経費支援等）
③所有者等に対する支援（広域自治体として市町村の実情を踏まえた支援）

市町村 文化財にとって最も身近な行政組織としての施策実施／施策実施のための体制整備／所有者等に対する支援

所有者等 国・府・市町村の支援を得ながら自ら行う文化財の維持管理、保存修理、公開等

府が取り組む事項

【支援】 市町村・所有者等に対する支援
【保存】 ①文化財の把握（未指定文化財を含む）
②適切な保存措置の実施
③保存措置を講じた文化財に対する状況の把握
④府が保有する文化財の適切な保存

【活用】 ①活用拠点の運営（府立博物館）
②府が保有する文化財の活用
③情報発信と活用方策の創出 等

【人材・仕組み】 ①人材（専門職員・所有者等・民間団体等）の確保と育成
②保存・活用の新たな仕組みづくり
（多面的な価値を生み出す取組／担い手／経費負担） 等

未指定文化財の把握について
も触れているのが素晴らしい！

防災・防犯および災害発生時の対応（第5章）

文化財の保存・活用の推進体制（第6章）

松下の災害、地域史料保全関係論文・著書

- ・「史料ネットによる水損写真資料の保全・応急処置－「思い出」をレスキューするために」（『日本写真学会誌』84、2021年）
- ・「小特集 襖・屏風下張り文書の保全と活用－住民参加型事例を中心に 小特集にあたって」（神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター年報『LINK：地域・大学・文化』12、2020年11月）
- ・「被災古文書の応急処置」（『かびと生活』12号、2019年6月）
- ・『水ぬれ資料を救おう－被災資料の救出と日頃の備え－2018（平成30）年度文書等保存利用研修会記録』（北海道立文書館、2019年）→同館HPでPDF配布
- ・「兵庫県丹波市内での民間所在史料の保存と活用について」（国文学研究資料館編『社会変容と民間アーカイブス』勉誠出版、2017年）
- ・「襖下張り文書の保全と活用－市民ボランティアとともに－」（尼崎市立地域研究史料館『地域史研究』114号、2014年）
- ・「民間所在史料保全のためのネットワーク形成」（奥村弘編『歴史文化を大災害から守る 地域歴史資料学の構築』（東京大学出版会、2014年）
- ・「市民とともに伝える地域の歴史文化－兵庫県丹波市での取り組み－」（神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター編『「地域歴史遺産」の可能性』（岩田書院、2013年）
- ・動産文化財救出マニュアル編集委員会編『動産文化財救出マニュアル 思い出の品から美術工芸品まで』（共著、クバプロ、2012年）
- ・「災害文化の継承に向けて」（『歴史科学』204、2011年）
- ・松下正和・河野未央編『水損史料を救う風水害からの歴史資料保全』（岩田書院、2009年）
- ・「災害と歴史資料保全」（地方史研究協議会編『歴史資料の保存と地方史研究』岩田書院、2009年）